

日本語 HP DECwindows Motif for OpenVMS

インストール・ガイド

2004 年 2 月

本書は、日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システムに日本語 DECwindows Motif をインストールする方法を説明したものです。

改訂情報: 本書は改訂版です。
オペレーティング・システム: 日本語 HP OpenVMS Alpha V7.3-2
ソフトウェア・バージョン: 国際化 HP DECwindows Motif for OpenVMS
Alpha V1.3-1
日本語 HP DECwindows Motif for OpenVMS
Alpha V1.3-1

日本ヒューレット・パッカー株式会社

2004年2月

本書の著作権は日本ヒューレット・パカード株式会社が保有しており、本書中の解説および図、表は日本ヒューレット・パカードの文書による許可なしに、その全体または一部を、いかなる場合にも再版あるいは複製することを禁じます。

また、本書に記載されている事項は、予告なく変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。万一、本書の記述に誤りがあった場合でも、日本ヒューレット・パカードは一切その責任を負いかねます。

本書で解説するソフトウェア(対象ソフトウェア)は、所定のライセンス契約が締結された場合に限り、その使用あるいは複製が許可されます。

© 2004 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Motif, OSF/1 および UNIX は The Open Group の商標です。

本書に記載のあるその他すべての製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

本書は、日本語 VAX DOCUMENT V 2.1を用いて作成しています。

目次

まえがき	ix
1 インストールの準備	
1.1 リリース・ノートについて	1-1
1.2 ライセンスの登録	1-2
1.3 必須ソフトウェア	1-3
1.4 インストール・プロセスに必要な条件	1-3
1.4.1 特権	1-3
1.4.2 システム・パラメータ	1-4
1.4.3 プロセス・アカウントのクォータ	1-5
1.4.4 ディスク・スペース	1-6
1.4.5 システム・ディスクのバックアップ	1-7
1.5 オプションのインストール	1-7
1.6 標準的なシステム保守手順	1-8
1.6.1 グローバル・ページおよびグローバル・セクション値の計算	1-9
1.6.2 AUTOGEN ユーティリティを使用したシステム・パラメータの変更	1-9
2 日本語 DECwindows Motif のインストール	
2.1 国際化 DECwindows Motif V1.3-1 のインストール	2-1
2.2 日本語キットのインストール	2-3

3	インストール後の作業	
3.1	DECwindows Motif ソフトウェアの再起動	3-1
3.2	インストール検証プロシージャ (IVP) の実行	3-1
3.3	キーボードの省略時の設定	3-2
A	標準版 DECwindows Motif のインストール	
A.1	インストール前の準備	A-1
A.1.1	ライセンス登録	A-2
A.1.2	サポートされているハードウェア	A-2
A.1.3	インストール・プロシージャの前提条件	A-3
A.1.4	必要なオペレーティング・システム・ソフトウェア	A-3
A.1.5	OSF/Motif リリース 1.1.3 および XUI プログラミング・サポート	A-5
A.1.6	設定したブックリーダー・ファイルの保管	A-6
A.1.7	インストール・プロシージャの実行に必要な条件	A-7
A.1.7.1	プロセス・アカウントのクォータ	A-7
A.1.7.2	ディスク・スペース	A-9
A.1.7.3	システム・パラメータ	A-11
A.1.7.4	システム保守プロシージャ	A-13
A.1.7.4.1	SYSGEN によるシステム・パラメータ値のチェック	A-14
A.1.7.4.2	未使用のグローバル・ページとグローバル・セクションの量を計算する	A-14
A.1.7.4.3	ページ・ファイルのサイズの設定	A-16
A.1.7.4.4	AUTOGEN ユーティリティを使用したシステム・パラメータの変更	A-17
A.1.7.5	システム・ディスクのバックアップ	A-18
A.1.7.6	他のユーザへの通知	A-18
A.2	POLYCENTER ソフトウェア・インストール・ユーティリティの使用法	A-19
A.2.1	ヘルプの使用法	A-20
A.2.2	製品リリース・ノート抽出と印刷	A-21
A.2.3	DECwindows Motif ソフトウェアのインストール	A-22
A.2.3.1	インストールの開始	A-22
A.2.3.2	インストール・ダイアログ	A-23
A.2.3.2.1	システム・パラメータ値の確認	A-24
A.2.3.2.2	AUTOGEN の実行	A-24
A.2.3.2.3	プログラミング環境の保存	A-26
A.2.3.2.4	省略時のインストール	A-26

	A.2.3.2.5	LBX プロキシのインストール ン	A-27
	A.2.3.2.6	クライアント・ソフトウェアのイン ストレーションの選択	A-27
	A.2.3.2.7	デスクトップの選択についての質 問	A-28
	A.2.3.2.8	プログラミング言語サポート・オブシ ョン	A-29
	A.2.3.2.9	変換イメージのサポート	A-30
	A.2.3.2.10	言語バリエーションについての注意	A-30
	A.2.3.2.11	インストール・オプションの確 認	A-31
	A.2.3.2.12	実行ダイアログ	A-31
	A.2.3.2.13	DECwindows Motif サポート・ファイ ルの確認	A-32
	A.2.3.2.14	インストールの最終メッセージ の確認	A-33
A.2.4		エラーからの回復	A-34
A.2.5		インストール後のパラメータの調整	A-35
A.3		ソフトウェア・インストール完了後の作業	A-35
A.3.1		DECwindows Motif ソフトウェアの起動	A-36
A.3.2		IVP (インストール検証プロシージャ) の実行	A-36
	A.3.2.1	プロシージャの実行	A-36
	A.3.2.2	表示関連テスト	A-37
	A.3.2.3	LBX IVP テスト	A-39
	A.3.2.4	表示関連以外のテスト	A-40
A.3.3		代替コンソールの選択	A-41
A.3.4		デスクトップの選択	A-42
A.4		DECwindows Motif ソフトウェアの管理	A-43
A.4.1		DECwindows X11 ディスプレイ・サーバのスタートアップ・ プロシージャ	A-43
A.4.2		DECwindows ベース・サポート・ファイル	A-45
	A.4.2.1	OpenVMS オペレーティング・システムの再構 成	A-45
A.4.3		問題の確認と報告	A-45
A.5		POLYCENTER ソフトウェア・インストール・ユーティリティを 使用したインストール実行例	A-45
A.5.1		OpenVMS Alpha Version 7.3-2 システムにおけるインスト レーション例	A-47
A.6		ソフトウェア・コンポーネント	A-50

B	インストールレーション / アンインストールレーション実行例	
B.1	インストールレーション実行例.....	B-1
B.1.1	国際化 DECwindows Motif V1.3-1 のインストールレーション	B-1
B.1.2	日本語 DECwindows Motif V1.3-1 のインストールレーション	B-2
B.2	アンインストールレーションの実行例.....	B-4
B.2.1	日本語 DECwindows Motif V1.3-1 のアンインストールレーション	B-4
B.2.2	国際化 DECwinndows Motif V1.3-1 のアンインストールレーション	B-5
C	エラーからの回復	
C.1	日本語 DECwindows Motif のインストールレーション時のエラー	C-1

例

A-1	十分なシステム・リソースを持つ OpenVMS Alpha Version 7.3-2 システムにおける DECwindows Motif のアップグレード・インストールレーション例	A-47
-----	---	------

表

1-1	必須ソフトウェア.....	1-3
1-2	最低限必要なシステム・パラメータ値.....	1-4
1-3	インストールするアカウントのプロセス・クォータ.....	1-6
1-4	必要なディスク・スペース	1-7
A-1	DECwindows Motif サポート・オプション	A-4
A-2	旧バージョンの XUI または Motif プログラミング環境用ディレクトリ	A-5
A-3	インストールするアカウントのプロセス・クォータ.....	A-8
A-4	コンポーネントごとに必要なディスク容量 (ブロック数)	A-10
A-5	最低限必要なシステム・パラメータ値.....	A-12
A-6	連続する未使用グローバル・ページおよびグローバル・セクションの必要量.....	A-15

まえがき

本書では、日本語 OpenVMS オペレーティング・システムが稼動しているシステムに、国際化 HP DECwindows Motif for OpenVMS V1.3-1 および日本語 HP DECwindows Motif for OpenVMS V1.3-1 をインストールする方法について説明しています。

本書の構成

本書の構成は以下のとおりです。

- 第 1 章、日本語 DECwindows Motif をインストールする前の準備作業について説明しています。
- 第 2 章、日本語 DECwindows Motif (国際化キットおよび日本語キット) のインストールについて説明しています。
- 第 3 章、日本語 DECwindows Motif のインストール後の作業について説明しています。
- 付録 A、標準版 DECwindows Motif のインストール方法について説明しています。
- 付録 B、インストールの実行例を紹介しています。
- 付録 C、エラーが発生した場合の対応方法について説明しています。

関連ドキュメント

本書に加えて、必要に応じて以下のドキュメントを参照してください。

- 『日本語 HP DECwindows Motif for OpenVMS V1.3-1 ソフトウェア仕様書』
- 『日本語 HP DECwindows Motif for OpenVMS リリース・ノート』

- 『*HP DECwindows Motif for OpenVMS Alpha New Features*』
- 『日本語 DECwindows Motif for OpenVMS 環境設定の手引き』
- 『OpenVMS システム管理者マニュアル』
- 『OpenVMS システム管理ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』

表記法

本書では次の表記法を使用しています。

表記法	意味
[YES] [NO]	システムからの問い合わせに対する省略時の応答は、大括弧で示されます。 <code>[Return]</code> キーだけを押しただけの場合は、省略時の応答を選択することになります。
UPPERCASE	英大文字のテキストは、コマンド、ファイル、パラメータ、プロセスを示します。
\$ @SYS\$UPDATE:VMSINSTAL	システムとの会話型の表示例では、システムからのプロンプトおよびテキストはモノスペース・タイプの文字で示します。ユーザによる入力例は太字で示します。
\$	ドル記号はDCLプロンプトを示します。システムによっては異なる記号である場合があります。
Ctrl/x	Ctrl/x という表記は、Ctrl キーを押しながら別のキーまたはポインティング・デバイス・ボタンを押すことを示します。

インストールの準備

必要なメディアおよび内容については、BOM (Bill of Materials) に指定されています。BOM に記載されている情報と照合して、必ずキット内容を確認してください。万一、キットが破損していたり、必要なメディアがすべてそろっていない場合には、最寄りの弊社の各支店/営業所にお問い合わせください。

注意

日本語 DECwindows Motif V1.3-1 のインストールは、国際化 DECwindows Motif V1.3-1 のキットと日本語 DECwindows Motif V1.3-1 のキットを POLYCENTER ソフトウェア・インストール・ユーティリティ (PCSI) を使用してインストールすることにより行います。

1.1 リリース・ノートについて

日本語 DECwindows Motif では、リリースノートを提供しています。この製品をインストールする前に、リリースノートに目を通しておくことを推奨します。リリースノートには、アプリケーションの変更点に関する情報を含んでいる場合があります。

リリースノートは、インストール時に次の場所にコピーされます。

```
SYS$HELP:DWM_JA_JP_131.RELEASE_NOTES
```

日本語 DECwindows Motif V1.3-1 では、次のコマンドを実行すると、キットからリリースノートを抽出できます。

```
$PRODUCT EXTRACT RELEASE_NOTES JDECW /SOURCE = kit_location
```

ここで *kit_location* は、日本語 DECwindows Motif V1.3-1 for OpenVMS Alpha のキットを含むディレクトリ (デバイス名を含む) です。DKA0:[KIT] にキットが置かれている場合、次のように指定します。

```
$PRODUCT EXTRACT RELEASE_NOTES JDECW /SOURCE = DKA0:[KIT]
```

1.2 ライセンスの登録

ノードまたはクラスタ上に日本語 DECwindows Motif をインストールして起動する前に、ライセンス管理機能 (LMF) を使用して、プロダクト・オーソライゼーション・キー (ライセンス PAK) を登録しなければなりません。ライセンスとメディアをあわせて注文した場合はライセンス PAK がキットに同梱されています。それ以外の場合は、ライセンスの注文に応じて別途提供されます。日本語 DECwindows Motif を、すでにライセンス登録済みのノードあるいはクラスタにアップデートする場合は、ライセンス PAK の新規登録の必要はありません。

日本語 DECwindows Motif とともに必須ソフトウェアおよびオプション・ソフトウェアをインストールしようとしている場合は、日本語 DECwindows Motif をインストールする前にその必須ソフトウェアおよびオプション・ソフトウェアの PAK を確認し、登録しておかなければなりません。

インストール検証プロシージャ (IVP) を起動してソフトウェアを使用する前に、日本語 DECwindows Motif のライセンスを登録しておかなければなりません。

OpenVMS にライセンスを登録する場合は、システム管理者のアカウント (SYSTEM) でログインします。次のいずれかの方法でライセンスを登録してください。

- SYS\$UPDATE:VMSLICENSE.COM プロシージャを呼び出します。入力を求めるプロンプトが表示されたら、ライセンス PAK のデータを入力してください。
- DCL のプロンプトで、ライセンス PAK の情報に対応する修飾子を指定して、LICENSE REGISTER コマンドを入力してください。

VMS クラスターの複数ノードで日本語 DECwindows Motif を使用する場合は、このインストールの完了後、他のノードでもライセンスを登録してください。

ライセンス管理機能 (LMF) の使用についての詳細は、『VMS License Management Utility Manual』を参照してください。

1.3 必須ソフトウェア

表 1-1 に、国際化 DECwindows Motif V1.3-1、日本語 DECwindows Motif V1.3-1 をインストールする前にシステムにインストールしておかなければならないソフトウェアを示します。

表 1-1 必須ソフトウェア

必須ソフトウェア	Alpha システムの最小バージョン
OpenVMS	V7.3-2
日本語 OpenVMS	V7.3-2
標準版 DECwindows Motif for OpenVMS	V1.3-1

1.4 インストール・プロシージャに必要な条件

この節では、日本語 DECwindows Motif をインストールする際に必要な条件 (プロセス・アカウント・クォータ、システム・パラメータ、ディスク・スペースなど) について説明します。

各種パラメータのチェックおよび設定のためのプロシージャは、第 1.6 節で説明されています。

1.4.1 特権

日本語 DECwindows Motif をインストールする場合は、SETPRV 特権あるいは少なくとも次の特権を持つアカウントにログインする必要があります。

- CMKRNL

- WORLD
- SYSPRV

1.4.2 システム・パラメータ

表 1-2 は、インストールに最低限必要なシステム・パラメータ値の一覧です。ご利用のプログラムとアプリケーションの種類に応じて、表の値よりも高い値が必要となる場合もあります。

インストールの前提条件となっている標準版の DECwindows Motif V1.3-1 をすでにインストールしている場合、システム・パラメータに通常問題はありせん。

表 1-2 最低限必要なシステム・パラメータ値

システム・パラメータ	Alpha 値
GBLPAGES ¹	110,000
GBLSECTIONS ¹	600
GBLPAGFIL	1,024
SWPOUTPGCNT	512
MAXBUF	8,192
VIRTUALPAGECNT	73,536
CHANNELCNT	255
PROCSECTCNT	64
PQL_DPGFLQUOTA	-
PQL_MPGFLQUOTA	32,768
PQL_MASTLM	100
PQL_MBIOLM	100
PQL_MBYTLM	100,000
PQL_MDIOLM	100

¹これらの値はインストールに必要なグローバル・ページおよびグローバル・セクションの未使用の値であり、システムおよびその他のソフトウェアを実行するために必要な合計値ではありません。

(次ページに続く)

表 1-2 (続き) 最低限必要なシステム・パラメータ値

システム・パラメータ	Alpha 値
PQL_MENQLM	300
PQL_MFILLM	100
PQL_MPRCLM	10
PQL_MWSDEFAULT	1,024
PQL_MWSQUOTA	2,048
PQL_MWSEXTENT	8,192
CLISYMTBL	265
GH_RES_CODE	1,024
IMGREG_PAGES	2,000
WINDOW_SYSTEM	1
NPAGEDYN	1,300,000
PAGEDYN	600,000
WSMAX	12,000

注意

システムに、インストレーションに必要な量のグローバル・ページおよびグローバル・セクションがあることを確認しない場合、DCL テーブルが壊れる可能性があります。

1.4.3 プロセス・アカウントのクォータ

インストレーション・プロシージャでは、インストールするアカウントに少なくとも表 1-3 に示されたクォータが必要となります。

表 1-3 インストールするアカウントのプロセス・クォータ

クォータ名	Alpha 値
ASTLM	250
BIOLM	150
BYTLM	64,000
DIOLM	150
ENQLM	2,000
FILLM	100
PGFLQUO	70,000

OpenVMS AUTHORIZE ユーティリティを使用して、利用者登録ファイル (UAF) 内のインストレーション・アカウントのプロセス・クォータの確認および変更を行います。

たとえば、インストレーション・アカウント *account-name* の BYTLM クォータを変更するには、次のコマンドを入力してください。

```
$ SET DEFAULT SYS$SYSTEM
$ RUN AUTHORIZE
UAF> SHOW account-name
UAF> MODIFY account-name /BYTLM = 18000
UAF> SHOW account-name
UAF> EXIT
$ LOGOUT
```

インストレーション・アカウントのクォータを変更した場合は、新しい値を有効にするために一度ログアウトした後に再度ログインしてください。以上で、インストレーションに進むことができます。

1.4.4 ディスク・スペース

国際化 DECwindows Motif および日本語 DECwindows Motif のインストレーションに必要な空きディスク・スペースを、表 1-4 に示します。

表 1-4 必要なディスク・スペース

キット	インストール前の必要ブロック数
国際化 DECwindows Motif for OpenVMS Alpha V1.3-1 および日本語 DECwindows Motif Alpha V1.3-1	270,000

上記の数値は、すべての製品コンポーネントをインストールする場合に使用される最低限必要なディスク・スペースを示しています。

システム・ディスクの空きブロック数を確認するには、DCL プロンプトで次のコマンドを入力してください。

```
§ SHOW DEVICE SYS$SYSDEVICE
```

1.4.5 システム・ディスクのバックアップ

インストールの開始時に、システム・ディスクのバックアップを行ったかどうかを問い合わせます。ソフトウェアをインストールする場合は、その前にシステム・ディスクのバックアップを行うことを推奨します。

通常の手順でバックアップを行ってください。システム・ディスクのバックアップの実行手順についての詳細は、『OpenVMS システム管理者マニュアル』のシステム・ディスクのバックアップの項を参照してください。

1.5 オプションのインストール

日本語 DECwindows Motif では、次のコンポーネントがオプションとして提供されます。

- 日本語キーマップ (Japanese Keymaps)
- 日本語 75dpi フォント (75dpi Japanese Font)
- 日本語 100dpi フォント (100dpi Japanese Font)

日本語 OpenVMS オペレーティング・システムのインストール時にすでにこれらのコンポーネントがインストールされている場合は、オプションのインストールは不要です。そうでない場合、あるいは不明の場合はすべてのオプションをインストールしてください。また、以前のバージョンの日本語 DECwindows Motif を削除して日本語 DECwindows Motif V1.3-1 をインストールする場合も、すべてのオプションをインストールしてください。

オプション・コンポーネントのファイルは次のとおりです。

- 日本語キーマップ

```
SYS$COMMON:[SYS$KEYMAP.DECW.SYSTEM]JAPANESE_*.*
```

- 日本語 75dpi フォント

```
SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_GOTHIC_*.*
```

```
SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_KMENU_*.*
```

```
SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_MINCHO_*.*
```

```
SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.75DPI]JDECW_SCREEN_*.*
```

- 日本語 100dpi フォント

```
SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_GOTHIC_*.*
```

```
SYS$COMMON:[SYSFONT.DECW.100DPI]JDECW_MINCHO_*.*
```

1.6 標準的なシステム保守手順

この節では、標準的な各種保守手順について説明します。

- グローバル・ページおよびグローバル・セクション値の計算
- OpenVMS AUTOGEN コマンド・プロシージャを使用したパラメータ値の変更

1.6.1 グローバル・ページおよびグローバル・セクション値の計算

国際化 DECwindows Motif および日本語 DECwindows Motif をインストールし、このソフトウェアを実行するためには、十分な未使用のグローバル・ページとグローバル・セクションが必要です。まず最初に、システムの未使用のグローバル・ページおよびグローバル・セクションの量を確認します。続いて、必要に応じて、AUTOGEN ユーティリティを使用してグローバル・ページおよびグローバル・セクションのシステム・パラメータ値を大きくします。

次の DCL コマンドを入力して、SYS\$LIBRARY:DCLTABLES.EXE に必要なグローバル・ページ数を調べます。

```
$ DIR/SIZE SYS$LIBRARY:DCLTABLES.EXE
```

このコマンドによって、SYS\$LIBRARY:DCLTABLES.EXE のファイル・サイズ (ブロック単位) が表示されます。この数をファイルに必要なグローバル・ページ数の目安として使用します。

F\$GETSYI レキシカル関数を使用して WRITE コマンドを入力し、連続する未使用グローバル・ページおよびグローバル・セクションの数を確認します。ご使用の端末からこの情報を得る方法の例を次に示します (SYS\$OUTPUT の省略時の設定)。

```
$ WRITE SYS$OUTPUT F$GETSYI("CONTIG_GBLPAGES")
15848
$ WRITE SYS$OUTPUT F$GETSYI("FREE_GBLSECTS")
24
```

第 A.1.7.4.4 項に、AUTOGEN ユーティリティを使用してこれらの値を大きくする方法を説明してあります。

1.6.2 AUTOGEN ユーティリティを使用したシステム・パラメータの変更

AUTOGEN ユーティリティを使用して、システム・パラメータを変更します。AUTOGEN は、ユーザがマニュアル操作でリセットした値に対応するパラメータの値を自動的に調整します。AUTOGEN を使用してシステム・パラメータを変更するには、SYS\$SYSTEM:MODPARAMS.DAT ファイルを編集してください。

このファイルに入っているパラメータ値を変更するには、そのパラメータに対応する現在値を削除し、新しい値を入力してください。

新しいパラメータを追加する場合は、次に示す例のようにファイルに 1 行追加して、パラメータ名とその値を書き込んでください。

```
WSMAX = 8096
```

グローバル・ページおよびグローバル・セクションなどのパラメータの現在の値に特定の値を追加する場合は、ADD_を使用します。次の例では、グローバル・ページの値に 2000 を追加します。

```
ADD_GBLPAGES = 2000
```

ページ・ファイル・クォータを設定する場合、システムで使用可能なページ・ファイル・スペースを超える値を使用することはできないことに注意してください。

変更をすべて入力したらファイルの編集を終了し、AUTOGEN ユーティリティを実行してシステム・パラメータを再度計算します。次のコマンドを入力して、システム・パラメータを再度計算し、システムを再ブートします。

```
$ @SYS$UPDATE:AUTOGEN GETDATA REBOOT
```

REBOOT を指定すると、AUTOGEN ユーティリティが自動的にシステムをシャットダウンした後、システムを再ブートします。シャットダウン中にシステムにログインしたユーザは、シャットダウン時に自動的にシステムから切断されます。自動再ブートにより、新しいパラメータ値が有効となります。

AUTOGEN ユーティリティは、最新の再ブート以降のリソースの消費量を基にいくつかの SYSGEN パラメータ値を自動的に調整します。この自動調整を無効とする場合は、AUTOGEN コマンド行に NOFEEDBACK を指定してください。

AUTOGEN の使用方法についての詳細は、『OpenVMS システム管理者マニュアル』を参照してください。

日本語 DECwindows Motif のインストール

日本語 DECwindows Motif for OpenVMS Alpha は、V1.3 以降、次の 2 つのキットで構成されています。

- 国際化 DECwindows Motif V1.3-1 for OpenVMS Alpha キット (国際化キット)
 - 各国語サポートに共通のソフトウェア・コンポーネントが含まれています。
- 日本語 DECwindows Motif V1.3-1 for OpenVMS Alpha キット (日本語キット)
 - 日本語サポート固有のソフトウェア・コンポーネントが含まれています。

日本語 DECwindows Motif V1.3-1 の環境を作るには、国際化キット、日本語キットの順でインストールを行います。

インストール時にエラーが発生した場合は、付録 C を参照してください。

2.1 国際化 DECwindows Motif V1.3-1 のインストール

国際化 DECwindows Motif V1.3-1 のキット (国際化キット) は、標準版 OpenVMS Alpha の POLYCENTER ソフトウェア・インストール・ユーティリティ (PCSI) 形式で提供されています。これにより、より迅速、かつ分かりやすいインストール環境を提供します。キット名は DEC-AXPVMS-DWMOTIF_I18N-V0103-1-1.PCSI です。

注意

国際化 DECwindows Motif V1.3-1 では、POLYCENTER ソフトウェア・インストール・ユーティリティを使用してインストールを行います。従来の VMSINSTAL ではインストールできませんのでご注意ください。

インストール・プロシージャ実行時にシステムからの問い合わせがある場合は、通常プロンプトの大括弧 ([]) 内に省略時の応答が表示されます。

次の手順に従って、国際化 DECwindows Motif V1.3-1 をインストールします。

1. 特権付きアカウントにログインします。

```
Username: SYSTEM  
Password:
```

2. POLYCENTER ソフトウェア・インストール・ユーティリティ (PCSI) を起動します。コマンドは次のとおりです。

```
$ PRODUCT INSTALL product_name / SOURCE= kit_location
```

コマンド以下の要素は次のように定義されます。

product_name

プロダクト名です。キット名ではありません。

国際化 DECwindows Motif for OpenVMS Alpha の場合、次のプロダクト名を使用します。

```
DWMOTIF_I18N
```

product_location

日本語 DECwindows Motif Alpha の国際化キット DEC-AXPVMS-DWMOTIF_I18N-V0103-1-1.PCSI を含むディレクトリ (装置名を含む) を指定します。

たとえば、日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システムの CD-ROM が DKA400 にマウントされている場合、*product_location* は

```
DKA400:[DWMA_JA_JPU1013.KIT]
```

となります。この場合の PRODUCT コマンド全体の指定は、次のとおりです。

```
$ PRODUCT INSTALL DWMOTIF_I18N /SOURCE=DKA400:[DWMA_JA_JPU1013.KIT]
```

PRODUCT コマンド起動後、次の問い合わせに対して Return キーを押して、インストールを開始してください。

The following product has been selected:
DEC AXPVMS DWMOTIF_I18N V1.3-1 Layered Product

Do you want to continue? [YES]

3. インストールが実行されます。

実際にインストールが実行されます。

Execution phase starting ...

The following product will be installed to destination:
DEC AXPVMS DWMOTIF_I18N V1.3-1 DISK\$1:[VMS\$COMMON.]

Portion done: 0%...10%...20%...30%...40%...50%...60%...70%...80%...90%...100%

The following product has been installed:
DEC AXPVMS DWMOTIF_I18N V1.3-1 Layered Product

DEC AXPVMS DWMOTIF_I18N V1.3-1: DECwindows Motif/I18N

This product requires the following SYSGEN parameters:
GBLPAGES add 2830

This product requires the following SYSGEN parameters:
GBLSECTIONS add 10

Installation of DECwindows Motif/I18N for OpenVMS Alpha V1.3-1 completed.

You can install Locale Language Variant of DECwindows Motif.

これでインストールは完了しました。この後続いて日本語キットをインストールしてください。

2.2 日本語キットのインストール

日本語 DECwindows Motif V1.3-1 の日本語キットは、標準版 OpenVMS Alpha の POLYCENTER ソフトウェア・インストール・ユーティリティ (PCSI) 形式で提供されています。これにより、より迅速、かつ分かり易いインストール環境を提供します。キット名は DEC-AXPVMS-JDECW-V0103-1-1.PCSI です。

注意

日本語 DECwindows Motif V1.3-1 では、POLYCENTER ソフトウェア・インストール・ユーティリティを使用してインストールを行います。従来の VMSINSTAL ではインストールできませんのでご注意ください。

インストール・プロシージャ実行時にシステムからの問い合わせがある場合は、通常プロンプトの大括弧 ([]) 内に省略時の応答が表示されます。

次の手順に従って、日本語 DECwindows Motif V1.3-1 をインストールします。

1. 特権付きアカウントにログインします。

```
Username: SYSTEM  
Password:
```

2. POLYCENTER ソフトウェア・インストール・ユーティリティ (PCSI) を起動します。コマンドは次のとおりです。

```
$ PRODUCT INSTALL product_name / SOURCE= kit_location
```

コマンド以下の要素は次のように定義されます。

product_name

プロダクト名です。キット名ではありません。

日本語 DECwindows Motif for OpenVMS Alpha の場合、次のプロダクト名を使用します。

```
JDECW
```

product_location

日本語 DECwindows Motif Alpha のキット DEC-AXPVMS-JDECW-V0103-1-1.PCSI を含むディレクトリ (装置名を含む) を指定します。

たとえば、日本語 OpenVMS Alpha オペレーティング・システムの CD-ROM が DKA400 にマウントされている場合、*product_location*は

```
DKA400:[DWMA_JA_JPU1013.KIT]
```


となります。この場合の PRODUCT コマンド全体の指定は、次のとおりです。

```
$ PRODUCT INSTALL JDECW /SOURCE=DKA400:[DWMA_JA_JPU1013.KIT]
```

PRODUCT コマンド起動後、次の問い合わせに対して Return キーを押して、インストールを開始してください。

```
The following product has been selected:
DEC AXPVMS JDECW V1.3-1                Layered Product
```

```
Do you want to continue? [YES]
```

3. インストールするオプションを選択します。

オプションについて PCSI から次のような問い合わせがあります。

```
Do you want the defaults for all options? [YES]
```

日本語 DECwindows Motif では、次のコンポーネントがオプションとしてインストールされます。

- 日本語キーマップ (Japanese Keymaps)
- 日本語 75dpi フォント (75dpi Japanese Font)
- 日本語 100dpi フォント (100dpi Japanese Font)

日本語 OpenVMS オペレーティング・システムのインストール時にすでにこれらのコンポーネントがインストールされている場合は、オプションのインストールは不要です。そうでない場合、あるいは不明の場合はすべてのオプションをインストールしてください。また、従来のバージョンの日本語 DECwindows Motif を削除して日本語 DECwindows Motif V1.3-1 をインストールする場合も、すべてのオプションをインストールしてください。詳しくは第 1.5 節を参照してください。

すべてのオプションをインストールする場合、およびインストールしない場合の手順はそれぞれ次のとおりです。

- すべてのオプションをインストールする場合

最初の質問に YES を入力してデフォルトの動作を選択します。これによってすべてのオプションがインストールされます。

以下はすべてのオプションをインストールする場合の例です。この例では **Do you want to review the options?** という質問に **yes** を入力して、インストールされるオプションを確認しています。

```
Do you want the defaults for all options? [YES]
Do you want to review the options? [NO] yes
DEC AXPVMS JDECW V1.3-1: DECwindows Motif/Japanese
  Do you need to install Japanese keymaps?: YES
  Do you need to install 100dpi Japanese font?: YES
  Do you need to install 75dpi Japanese font?: YES
Are you satisfied with these options? [YES]
```

- **インストールしない場合**

最初の質問に **NO** を入力します。すると各オプションについてインストールするかどうか聞いてくるので、すべて **NO** を入力します。

以下はオプションをインストールしない場合の例です。この例では **Do you want to review the options?** という質問に **yes** を入力して、インストールされるオプションを確認しています。

```
Do you want the defaults for all options? [YES] no
  Do you need to install Japanese keymaps? [YES] no
  Do you need to install 100dpi Japanese font? [YES] no
  Do you need to install 75dpi Japanese font? [YES] no
Do you want to review the options? [NO] yes
DEC AXPVMS JDECW V1.3-1: DECwindows Motif/Japanese
  Do you need to install Japanese keymaps?: NO
  Do you need to install 100dpi Japanese font?: NO
  Do you need to install 75dpi Japanese font?: NO
Are you satisfied with these options? [YES]
```

4. インストールが実行されます。

実際にインストールが実行されます。

Execution phase starting ...

The following product will be installed to destination:

DEC AXPVMS JDECW V1.3-1 DISK\$1:[VMS\$COMMON.]

Portion done: 0%...10%...20%...30%...40%...50%...60%...70%...80%...90%...100

The following product has been installed:

DEC AXPVMS JDECW V1.3-1 Layered Product

DEC AXPVMS JDECW V1.3-1: DECwindows Motif/Japanese

This product requires the following SYSGEN parameters:

GBLPAGES add 13300

This product requires the following SYSGEN parameters:

GBLSECTIONS add 40

Installation Verification Procedure (IVP) can be run after reboot.

The IVP is SYS\$TEST:DECW\$IVP_JA_JP.COM.

Installation of DECwindows Motif/Japanese for OpenVMS Alpha completed.

Check whether this product have the following PAKs registerd and loaded.

PAK Name
DW-MOTIF
DW-MOTIF-UI-JAPANESE

These are required to run any DECwindows Motif/Japanese for OpenVMS application.

If your system is already running DECwindows Motif, restart DECwindows Motif with the following DCL command:

\$ @SYS\$MANAGER:DECW\$STARTUP RESTART

If your system has not run DECwindows Motif yet, start DECwindows Motif with the following DCL command:

\$ @SYS\$MANAGER:DECW\$STARTUP

**これでインストールは完了しました。DECwindows Motif のインストール前
のシステム構成に応じて、DECwindows を起動、または再起動する
必要があることに注意してください。**

インストール後の作業

日本語 DECwindows Motif をインストールした後、次の作業を行わなければなりません。

- DECwindows Motif ソフトウェアの再起動
- インストール検証プロシージャ (IVP) の実行

3.1 DECwindows Motif ソフトウェアの再起動

システムで DECwindows Motif をすでに起動している場合は、次の DCL コマンドを使用して DECwindows Motif を再起動します。

```
$ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP RESTART
```

システムでまだ DECwindows Motif を起動していない場合は、次の DCL コマンドを使用して DECwindows Motif を起動します。

```
$ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP
```

3.2 インストール検証プロシージャ (IVP) の実行

インストールが完了し、DECwindows Motif を再起動した場合は、インストール検証プロシージャ (IVP) を実行することを推奨します。次のコマンドを使用して、インストール検証プロシージャを実行します。

```
$ @SYS$COMMON:[SYSTEST]DECW$IVP_JA_JP.COM
```

3.3 キーボードの省略時の設定

ワークステーションで日本語キーボードを使用している場合は、キーボードの省略時の設定をすることができます。

設定方法は第 A.5.1 項を参照してください。

まず、キーボードを裏返してモデル番号を確認してください。システムにインストールされているキーマップは、スタイル・マネージャのキーボード、もしくはセッション・マネージャのキーボード設定のダイアログ・ボックス内のキーボード・リストに表示されます。この中から適当なものを選択し、DECWSDEFAULT_KEYBOARD_MAP に設定してください。

標準版 DECwindows Motif のインストール

A.1 インストール前の準備

ここでは、POLYCENTER ソフトウェア・インストール・ユーティリティを使用して、標準版 DECwindows Motif ソフトウェアをインストールするために必要な準備と条件について説明します。

注意

インストールを始める前にリリース・ノートをお読みください。オンライン・リリース・ノートが用意されています。リリース・ノートを参照する方法については第 A.2.2 項を参照してください。

この節の構成と内容は次のとおりです。

- 第 A.1.1 節, ライセンス登録
- 第 A.1.2 項, サポートされているハードウェア
- 第 A.1.3 項, インストール・プロシージャの前提条件
- 第 A.1.4 項, 必要なオペレーティング・システム・ソフトウェア
- 第 A.1.5 項, OSF/Motif リリース 1.1.3 および XUI プログラミング・サポート
- 第 A.1.6 項, 設定したブックリーダー・ファイルの保管
- 第 A.1.7 節, インストール・プロシージャの実行に必要な条件

A.1.1 ライセンス登録

ノードまたはクラスタ上に DECwindows Motif ソフトウェアをインストールして起動する前に、ライセンス管理機能 (LMF) を使用して、プロダクト・オーソライゼーション・キー (ライセンス PAK) を登録しなければなりません。ライセンスとメディアをあわせて注文した場合はライセンス PAK がキットに同梱されています。それ以外の場合は、ライセンスの注文に応じて別途提供されます。

DECwindows Motif ソフトウェアを、すでにライセンス登録済みのノードあるいはクラスタにアップデートする場合は、ライセンス PAK の新規登録の必要はありません。

インストレーション検証プロシージャ (IVP) を起動してソフトウェアを使用する前に、DECwindows Motif のライセンスを登録しておかなければなりません。

ライセンスを登録するには、システム管理者のアカウント (SYSTEM) でログインします。次のいずれかの方法でライセンスを登録してください。

- SYSSUPDATE:VMSSLICENSE.COM プロシージャを呼び出します。入力を求めるプロンプトが表示されたら、ライセンス PAK のデータを入力してください。
- DCL のプロンプトで、ライセンス PAK の情報に対応する修飾子を指定して、LICENSE REGISTER コマンドを入力してください。

VMS クラスタの複数ノードで DECwindows Motif を使用する場合は、このインストレーションの完了後、他のノードでもライセンスを登録してください。

ライセンス管理機能 (LMF) の使用についての詳細は、『VMS License Management Utility Manual』を参照してください。

A.1.2 サポートされているハードウェア

DECwindows Motif ソフトウェアは、サポートされているすべての Alpha プロセッサにインストールすることができます。サポートされているハードウェアの一覧については、OpenVMS Alpha Version 7.3-2 および DECwindows Motif のソフトウェア仕様書 (SPD) を参照してください。

A.1.3 インストール・プロシージャの前提条件

DECwindows Motif ソフトウェアをインストールし、コンフィギュレーションを行う場合は、前提条件として、対応する OpenVMS オペレーティング・システム・ソフトウェア、十分なメモリ容量、ライセンスが必要です (ライセンス PAK の登録については、第 A.1.1 節を参照してください)。

DECwindows Motif ソフトウェアのインストールは、第 A.1.4 項で提供するオペレーティング・システムの情報に従って、POLYCENTER Software Installationユーティリティを使用して行います。

A.1.4 必要なオペレーティング・システム・ソフトウェア

HP DECwindows Motif for HP OpenVMS Alpha Version 1.3-1 ソフトウェアは、表 A-1 に示す DECwindows サポート・オプションとともに OpenVMS Alpha Version 7.3-2 オペレーティング・システムがインストールされていることを必要とします。DECwindows Motif Version 1.3-1 は OpenVMS Alpha Version 7.3-2 でのみサポートされます。

サポートされているバージョンの OpenVMS がシステムにインストールされていない場合は、DECwindows Motif をインストールしようとするインストールが失敗します。

必要なメモリ・サイズは最低 64MB ですが、少なくとも 128MB のメモリが装着されていることを推奨します。

OpenVMS オペレーティング・システムには、DECwindows Motif をサポートするコンポーネントのサブセットが 2 つ含まれています。DECwindows Motif ソフトウェアを使用するには、表 A-1 に示すコンポーネントがインストールされた状態で OpenVMS システムが稼動している必要があります。

表 A-1 DECwindows Motif サポート・オプション

オプション	説明
DECwindows Motif ネットワーク・トランスポートおよびベース・システム・サポート	<p>このコンポーネントは DECwindows Motif のインストール・オプション、および DECwindows Motif アプリケーションの実行に必要です。OpenVMS のインストール時にこのオプションのインストールを行うかどうか問い合わせるプロンプトが表示されます。</p> <p>OpenVMS のこのオプションがインストールされているかどうか確認するには、次のファイルが存在するかどうかを確認してください。</p> <p><code>SYS\$LIBRARY:DECW\$TRANSPORT_COMMON.EXE</code></p>
DECwindows X11 ディスプレイ・サーバ、フォントおよびデバイス・ドライバ	<p>このコンポーネントは、システムに DECwindows Motif アプリケーションその他の X11 アプリケーションを表示するために必要です。OpenVMS のインストール時に、このオプションをインストールするかどうかのプロンプトが表示されます。</p> <p>OpenVMS にこのオプションがインストールされているかどうか確認するには、次のファイルが存在するかどうかを確認してください。</p> <p><code>SYS\$SYSTEM:DECW\$SERVER_MAIN.EXE</code></p> <p>システムに <code>DECW\$SERVER_MAIN.EXE</code> ファイルがない場合は、ローカル・システムに X Window アプリケーションを表示することはできません¹。DECwindows Motif のインストール・プロシージャは、ワークステーションのサポートなしでインストールを継続するかどうかのプロンプトを表示します。</p>

¹このコンポーネントがローカルにインストールされていない場合は、DECwindows Motif アプリケーションを DECwindows X11 ディスプレイ・サーバがインストールされたリモート・システムに表示させてください。

注意

DECwindows X11 ディスプレイ・サーバについての詳細は、稼動している OpenVMS オペレーティング・システムのバージョンに対応したリリース・ノートおよびカバー・レターを参照してください。

A.1.5 OSF/Motif リリース 1.1.3 および XUI プログラミング・サポート

DECwindows Motif ソフトウェアで提供される X Window および OSF/Motif ライブラリは、V1.2 より前のバージョンに付属のライブラリとの互換性はありません。実行時の互換性は維持されていますが、OSF/Motif リリース 1.1.3 および XUI のプログラミング環境は、それよりあとの OSF/Motif リリース 1.2 のプログラミング環境との互換性はありません。

DECwindows Motif の旧バージョンで提供されていた XUI および OSF/Motif リリース 1.1.3 環境でのプログラミングは、DECwindows Motif 製品ではサポートされていません。ただし、(DECwindows Motif のインストール前に) システムに存在する XUI および OSF/Motif リリース 1.1.3 のプログラミング・ファイルを保管するためのオプションがあります。これらのプログラミング・ファイルの保管を選択した場合、ファイルはサブディレクトリに移され、プログラミング用にアクセスできるようになります。具体的には、表 A-2 に示す各ディレクトリに[.DECW\$113]というサブディレクトリが作成され、古いファイルが新しい[.DECW\$113]サブディレクトリに移されます。

表 A-2 旧バージョンの XUI または Motif プログラミング環境用ディレクトリ

ディレクトリ	内容	新しい位置
DECW\$INCLUDE	C ヘッド・ファイル	SYSSYSROOT:[DECW\$INCLUDE.DECW\$113]
SYSSYSTEM	UIL コンパイラ	SYSSYSROOT:[SYSEXE.DECW\$113]
SYSSLIBRARY	非 C 言語バインディング	SYSSYSROOT:[SYSLIB.DECW\$113]

注意

保存した環境を使用するための手順については、リリース・ノートに説明があります。

A.1.6 設定したブックリーダー・ファイルの保管

インストール・プロシージャによって、次のファイルが新バージョンに置き換えられます。

```
SYSSYSROOT:[DECW$BOOK]LIBRARY.DECW$BOOKSHELF
```

カスタマイズしたファイルを保管したい場合は、DECwindows Motif ソフトウェアをインストールする前に、別のディレクトリにコピーするか、名称を変更して削除されないようにします。

カスタマイズしたファイルを別のディレクトリにコピーする場合は、ディレクトリを作成して、DECW\$PRIVATE_APPS_SETUP.COM ファイルにグローバル・シンボルを定義します。

次の手順に従って、SYSSCOMMON:[DECW\$BOOK_LOCAL]という名前のブックリーダー用のディレクトリを作成します。

1. 次のようにディレクトリを作成し、WORLD の読み取りアクセスを指定します。

```
$ CREATE/DIRECTORY/PROTECTION=WORLD:R -  
_ $ SYSSCOMMON:[DECW$BOOK_LOCAL]
```

2. 次のように LIBRARY.DECW\$BOOKSHELF ファイルを新しいディレクトリにコピーします。

```
$ COPY SYSSYSROOT:[DECW$BOOK]LIBRARY.DECW$BOOKSHELF -  
_ $ SYSSCOMMON:[DECW$BOOK_LOCAL]*/LOG
```

3. SYSSMANAGER ディレクトリに DECW\$PRIVATE_APPS_SETUP.COM コマンド・ファイルが存在しない場合は、次のようにテンプレート・ファイルをコマンド・ファイルにコピーします。

```
$ COPY SYSSMANAGER:DECW$PRIVATE_APPS_SETUP.TEMPLATE -  
_ $ SYSSMANAGER:DECW$PRIVATE_APPS_SETUP.COM/LOG
```

4. DECW\$PRIVATE_APPS_SETUP.COM ファイルを編集して次の 1 行を追加し、グローバル・シンボルの DECW\$BOOK がブックリーダのディレクトリを示すようにします。

```
$ DECW$BOOK == "SYS$COMMON:[DECW$BOOK_LOCAL]"
```

5. 製品のインストレーション後および DECwindows の起動後 (たとえば、システムのリポート後など) に手順 4 を実行した場合は、次のコマンドを使用して DECwindows Motif を再起動します。

```
$ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP RESTART
```

DECwindows Motif 環境の設定手順についての詳細は、『日本語 DECwindows Motif for OpenVMS 環境設定の手引き』を参照してください。

A.1.7 インストレーション・プロシージャの実行に必要な条件

ここでは、PCSI を使用して DECwindows Motif ソフトウェアをインストールする際に必要な条件について説明します。

インストレーション・プロシージャで、以下の点がチェックされます。

- システムに他のユーザがログインしていないか。
- システム・アカウントに最低限必要なクォータとリミットであるか。
- ディスクに最低限必要なスペースがあるか。
- 最低限必要なシステム・パラメータ値であるか。

A.1.7.1 プロセス・アカウントのクォータ

インストレーション・プロシージャでは、インストールするアカウントに少なくとも表 A-3 に示されたクォータが必要となります。

表 A-3 インストールするアカウントのプロセス・クォータ

クォータ	Alpha 値
ASTLM	250
BIOLM	150
BYTLM	64,000
DIOLM	150
ENQLM	2,000
FILLM	100

OpenVMS AUTHORIZE ユーティリティを使用して、利用者登録ファイル (UAF) 内のインストレーション・アカウントのプロセス・クォータの確認および変更を行います (サイトによっては、特定のアカウントあるいはユーザに対して、AUTHORIZE ユーティリティの使用を制限している場合があります)。たとえば、インストレーション・アカウント *account-name* の BYTLM クォータを変更するには、次のコマンドを入力してください。

```
$ SET DEFAULT SYS$SYSTEM
$ RUN AUTHORIZE
UAF> SHOW account-name
UAF> MODIFY account-name /BYTLM = 32768
UAF> SHOW account-name
UAF> EXIT
$ LOGOUT
```

インストレーション・アカウントのクォータを変更した場合は、新しい値を有効にするために一度ログアウトした後に再度ログインしてください。以上で、インストレーションに進むことができます。

ユーザ・アカウント・クォータは SYS\$SYSTEM:SYSUAF.DAT ファイルに保存されています。アカウント・クォータを変更する手順についての詳細は、『OpenVMS システム管理ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』を参照してください。

A.1.7.2 ディスク・スペース

表 A-4 を使用して、DECwindows Motif のソフトウェア・コンポーネントをインストールするために必要な空きスペースがシステム・ディスクにあるかどうか確認します。ただし、すべてのコンポーネントをインストールしない場合は、実際に使用するディスク・スペースはこれよりも少なくなります。

システム・ディスクの空きブロック数を確認するには、DCL プロンプトで次のコマンドを入力してください。

```
$ SHOW DEVICE SYS$SYSDEVICE
```

インストール・プロシージャは、システム・ディスクの空きスペースをチェックします。空きスペースが十分でない場合は、次のいずれかの方法を選択することができます。

- インストールするオプション・ファイルの数を減らす。
- インストールを強制終了し、システム・ディスクの空きスペースを増やしてから、インストールを再度実行する。
- ディスクの空きスペースが足りなくなる可能性があることを承知した上で、継続してインストールを行う。

注意

インストール中に必要な空きスペースが不足すると、インストール・プロシージャは失敗します。

表 A-4 コンポーネントごとに必要なディスク容量 (ブロック数)

コンポーネント/サブ・コンポーネント	容量	小計	合計
インストレーション・オーバーヘッド:	40,000 ¹	40,000	40,000
サーバ・ソフトウェア:			
サーバ・ベース・キット	4,120	4,120	
ユーロ通貨サポート	19,880	19,880	
サーバ合計			24,000
LBX サポート:	990	990	990
クライアント・ソフトウェア:			
クライアント・ベース・キット	57,030	57,030	
デスクトップ・サポート			
新しいデスクトップ	43,620		
DECwindows デスクトップ	7,850		
新しいデスクトップ用のリファレンス・ページ	2,810		
デスクトップ小計		54,280	
プログラミング環境			
C, C++	7,890		
FORTRAN	2,070		
Pascal	3,060		
新しいデスクトップ	150		
プログラミング小計		13,020	
サンプル・プログラム			
サウンド・サンプル	1,550		
プログラミング・サンプル	10,290		
新しいデスクトップのサンプル	1,250		

¹余分のディスク・スペース割り当て (ディスク・クラスタ・サイズに依存), PCSI オーバーヘッド, ログ・ファイルを含む。この値は, LBX, クライアント・ソフトウェアを組み合わせたインストレーションのための値です。

(次ページに続く)

表 A-4 (続き) コンポーネントごとに必要なディスク容量(ブロック数)

コンポーネント/サブ・コンポーネント	容量	小計	合計
サンプル小計		13,090	
翻訳イメージ・サポート	28,330	28,330	
クライアント合計			165,780
すべてのコンポーネントの合計:			206,740

A.1.7.3 システム・パラメータ

表 A-5 に示すのは、インストールに最低限必要なシステム・パラメータ値の一覧です。DECwindows Motif のインストール・プロセスは、これらの値のチェックを自動的に行います。これらのパラメータ値の調整が必要な場合、インストール・プロセスは NEWPARAMS.DAT ファイルを作成します。AUTOGEN はこのファイルを CLUS\$PARAMS.DAT ファイルの入力として使用します。ほとんどの場合、この処理により MODPARAMS.DAT ファイルの修正は必要なくなります。

DECwindows Motif と OpenVMS を一緒にインストールしている場合、インストール・プロセスは要件値のチェックをインストールが完了するまで遅らせます。この場合、AUTOGEN が自動的に実行されます (第 A.2.5 項を参照)。DECwindows Motif と OpenVMS を同時にインストールしていない場合はインストール中にチェックが行われ、インストールを進める前に AUTOGEN を実行するように指示があります (第 A.2.3.2.1 項を参照)。

ご利用のプログラムとアプリケーションの種類に応じて、一部の設定について表の値より大きな値が必要となる場合もあります。より大きな値が必要な場合は、AUTOGEN を実行する前に MODPARAMS.DAT ファイルを修正する必要があります。

表 A-5 最低限必要なシステム・パラメータ値

システム・パラメータ	値
GBLSECTIONS	600 ¹
GBLPAGES	150,000 ¹
GBLPAGFIL	1,024
SWPOUTPGCNT	512
MAXBUF	8,192
CHANNELCNT	255
PROCSECTCNT	64
PQL_DPGFLQUOTA	—
PQL_MPGFLQUOTA	32,768
PQL_MASTLM	100
PQL_MBIOLM	100
PQL_MBYTLM	100,000
PQL_MDIOLM	100
PQL_MENQLM	300
PQL_MFILLM	100
PQL_MPRCLM	10
PQL_MWSDEFAULT	1,024
PQL_MWSQUOTA	2,048
PQL_MWSEXTENT	8,192
CLISYMTBL	512
GH_RES_CODE	1,024
GH_RES_DATA	512
IMGREG_PAGES	2,000

¹グローバル・ページおよびグローバル・セクションを使用するアプリケーションをすでにインストールしてある場合は、表より高いパラメータ値が必要となることがあります。システムをブートすると、DECWindows Motif の起動時にシステムの未使用の GBLPAGES および GBLSECTIONS の値がチェックされます。GBLPAGES および GBLSECTIONS に十分な空きがない場合は、DECwindows Motif の起動プロシージャが、警告と各パラメータの推奨値を出力します。

(次ページに続く)

表 A-5 (続き) 最低限必要なシステム・パラメータ値

システム・パラメータ	値
WINDOW_SYSTEM	1
NPAGEDYN	1,998,848
PAGEDYN	600,000
WSMAX	12,000

警告

システムに、インストールに必要な量のグローバル・ページおよびグローバル・セクションがあることを確認しない場合、DCL テーブルが壊れる可能性があります。

A.1.7.4 システム保守プロシージャ

この項では、システム・ジェネレーション・ユーティリティ (SYSGEN) および AUTOGEN ユーティリティを使用して、DECwindows Motif のインストール用にシステムを準備する方法を説明します。AUTOGEN ユーティリティはシステム構成データを使用して、システム・パラメータを自動的に設定します。

注意

DECwindows Motif のインストール・プロシージャおよびスタートアップ・プロシージャは、必要なシステム・パラメータ値を自動的にチェックし、第 A.1.7.3 項で説明した NEWPARAMS.DAT/CLU\$PARAMS.DAT による方法で適切な値を AUTOGEN に渡します。したがって、ほとんどの場合、以下の項で説明するようなマニュアル操作によるパラメータ値のチェックおよび修正の必要はありません。これらの項では、DECwindows Motif により通常指定される値を超えてシステム・リソースを増やす必要があると判断した場合の手順について説明しています。

A.1.7.4.1 SYSGEN によるシステム・パラメータ値のチェック システム・パラメータ値をチェックするには、DCL プロンプトで次のコマンドを入力して SYSGEN ユーティリティを起動してください。

```
$ RUN SYS$SYSTEM:SYSGEN
SYSGEN> USE CURRENT
SYSGEN>
```

SYSGEN プロンプトで、SHOW コマンドを入力してシステム・パラメータ値を表示してください。次のコマンドで、CLISYMTBL システム・パラメータ値を表示することができます。

```
SYSGEN> SHOW CLISYMTBL
```

SHOW コマンドですべての必要なパラメータをチェックした後、SYSGEN プロンプトで EXIT コマンドを入力し、DCL レベルに戻ります。

現在の値が表 A-5 に指定された値よりも小さい場合は、システム・パラメータ値を大きくしてください。第 A.1.7.4.4 項に、AUTOGEN ユーティリティを使用してパラメータ値を大きくする方法が説明されています。

A.1.7.4.2 未使用のグローバル・ページとグローバル・セクションの量を計算する DECwindows Motif ソフトウェアをインストールし実行するためには、DECwindows Motif ソフトウェアと SYS\$LIBRARY:DCLTABLES.EXE ファイルに対して、グローバル・ページとグローバル・セクションに十分な空きが必要になります。表 A-6 に、システムがすでに DECwindows Motif 実行している場合およびシステムで DECwindows Motif を実行していない場合に、DECwindows Motif が必要とする空きグローバル・ページとグローバル・セクション示します。

表 A-6 連続する未使用グローバル・ページおよびグローバル・セクションの必要量

DECwindows Motif を実行している場合	
システム・リソース	値
CONTIG_GBLPAGES	12,000
FREE_GBLSECTS	20
DECwindows Motif を実行していない場合	
システム・リソース	値
CONTIG_GBLPAGES	92,000
FREE_GBLSECTS	260

DECwindows Motif は、NEWPARAMS.DAT ファイルでグローバル・ページおよびグローバル・セクションに対して MIN_および ADD_パラメータの両方を用意して十分なリソースが利用できるようにします。また、DECwindows Motif のスタートアップ・コマンド・プロシージャはこれらの値をチェックし、現在のリソースが十分でない場合は AUTOGEN を自動的に起動します。ただし、一定のシステム負荷のもとでは、ユーザ自身が MODPARAMS.DAT に ADD_エントリを記述してこれらのリソースを増やす必要がある場合もあります。ユーザが MODPARAMS.DAT に用意した ADD_の値は、DECwindows Motif が NEWPARAMS.DAT ファイルに用意した値に加えられます。

最初に、システムにどの程度グローバル・ページおよびグローバル・セクションの空きが存在するかと、新しいバージョンの SYSS\$LIBRARY:DCLTABLES.EXE を再インストールするのにどの程度グローバル・ページおよびグローバル・セクションが必要になるかを調べます。その後、必要に応じて、AUTOGEN ユーティリティを使用して GBLPAGES および GBLSECTIONS システム・パラメータの値を増やします。

連続する空きグローバル・ページ数および空きグローバル・セクション数を調べるには、FSGETSYI レキシカル関数とともに WRITE コマンドを入力してください。可能であればこのコマンドは、これらの2つのリソースに対する負荷のピーク時に使用してください。次の例では、省略時のターミナル SYSS\$OUTPUT でこの情報を入手する方法を示しています。

```
$ WRITE SYS$OUTPUT F$GETSYI("CONTIG_GBLPAGES") 
15848
$ WRITE SYS$OUTPUT F$GETSYI("FREE_GBLSECTS") 
24
```

SYSS\$LIBRARY:DCLTABLES.EXE で必要となるグローバル・ページ数を調べるには、次のような DCL コマンドを入力してください。

```
$ DIR/SIZE SYS$LIBRARY:DCLTABLES.EXE
```

このコマンドは SYSS\$LIBRARY:DCLTABLES.EXE ファイルのサイズ(ブロック数)を返します。この値を、このファイルに必要なグローバル・ページ数の概算値として使用してください。

この値を表 A-6 に示す値と比較して、連続する空きグローバル・ページ数および空きグローバル・セクション数が十分であるかどうかを確認してください。インストールを続けるには値が十分でない場合は第 A.1.7.4.4 項を参照し、AUTOGEN コーティリティを使用してこれらの値を増やしてください。

A.1.7.4.3 ページ・ファイルのサイズの設定 許容範囲のパフォーマンスで DECwindows Motif を実行できるように、ページ・ファイルのサイズには、システムの仮想メモリを扱うことができるだけの十分な大きさが必要です。ページ・ファイルの最適サイズは、システムに搭載している物理メモリ量、アプリケーションの負荷など、各種要因に依存します。

一般的な原則として、ページ・ファイルのサイズは、75,000 ブロック以上としてください。ただし、多数のアプリケーションを実行するシステムでは、このサイズは小さすぎる場合があります。負荷の重いシステムの場合は、ページ・ファイルのサイズを 2 倍あるいはそれ以上に増やすことで、パフォーマンスが大幅に改善されることもあります。

通常は、FEEDBACK を指定して AUTOGEN を実行し、システムの使用パターンに基づいたページ・ファイルのサイズを計算させます。FEEDBACK を指定して AUTOGEN を実行するには、次の DCL コマンドを入力します。

```
$ @SYS$UPDATE:AUTOGEN SAVPARAMS REBOOT FEEDBACK
```

また、SYSGEN ユーティリティを実行して、あるいは
SYS\$UPDATE:SWAPFILES.COM コマンド・プロシージャを使用して、ページ・
ファイルのサイズを増やすこともできます。

ページ・ファイルのサイズの設定手順および AUTOGEN の実行手順についての詳細は、『OpenVMS システム管理者マニュアル』の AUTOGEN ユーティリティの節および『OpenVMS システム管理ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』の AUTOGEN ユーティリティの節を参照してください。パフォーマンスのチューニング全般については、『OpenVMS Performance Management』を参照してください。

A.1.7.4.4 AUTOGEN ユーティリティを使用したシステム・パラメータの変更 AUTOGEN ユーティリティを使用して、システム・パラメータを変更します。AUTOGEN は、ユーザがマニュアル操作でリセットした値に対応するパラメータの値を自動的に調整します。AUTOGEN を使用してシステム・パラメータを変更するには、SYS\$SYSTEM:MODPARAMS.DAT ファイルを編集してください。

このファイルに入っているパラメータ値を変更するには、そのパラメータに対応する現在値を削除し、新しい値を入力してください。

グローバル・ページおよびグローバル・セクションなどのパラメータの現在の値を増やす場合は、パラメータ名にプリフィックス ADD_ を付けて値を指定した 1 行をファイルに追加します。次の例では、グローバル・ページの値に 30,000 を追加しています。

```
ADD_GBLPAGES = 30000
```

次に示すのは、値の追加が必要となる可能性のあるシステム・パラメータの一覧です。

```
SYSMWCNT  
GBLSECTIONS  
GBLPAGES  
GBLPAGFIL  
NPAGEDYN  
PAGEDYN
```

変更をすべて入力したらファイルの編集を終了し、AUTOGEN ユーティリティを実行してシステム・パラメータを再度計算します。次のコマンドを入力して、システム・パラメータを再度計算し、システムを再ブートします。

```
$ @SYS$UPDATE:AUTOGEN GETDATA REBOOT
```

REBOOT を指定すると、AUTOGEN ユーティリティが自動的にシステムをシャットダウンした後、システムを再ブートします。シャットダウン中にシステムにログインしたユーザは、シャットダウン時に自動的にシステムから切断されます。自動再ブートにより、新しいパラメータ値が有効となります。

AUTOGEN の使用方法についての詳細は、『OpenVMS システム管理者マニュアル』の AUTOGEN ユーティリティの項および『OpenVMS システム管理ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』の AUTOGEN の項を参照してください。

A.1.7.5 システム・ディスクのバックアップ

ソフトウェアをインストールする場合は、その前にシステム・ディスクのバックアップを行うことをお勧めします。インストレーション開始時に、インストレーション・プロシージャから、システム・ディスクのバックアップを行ってあるかどうか問い合わせがあります。通常の手順でバックアップを行ってください。システム・ディスクのバックアップの実行手順についての詳細は、『OpenVMS システム管理ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』のバックアップ・ユーティリティの項を参照してください。

A.1.7.6 他のユーザへの通知

インストレーションの前に、特定の製品をインストールしようとしていること、およびインストレーション中はログアウトしなければならないことをシステムにログインしているユーザに通知します。次の手順に従って、他にログインしているユーザがないことを確認してください。

1. DCL プロンプトに次のコマンドを入力して、現在ログインしている他のユーザにログアウトするよう通知します。

```
$ REPLY/ALL/BELL/SHUTDOWN "Log out for the installation of -  
_$_ Compaq DECwindows Motif for OpenVMS, Version 1.2--6 please..."
```


2. DCL プロンプトに次のコマンドを入力して、非特権ユーザがシステムにログインできないようにします。

```
§ SET LOGINS/INTERACTIVE=0
```

可能な場合は、システムに再度ログインできるまでの予想時間をユーザに通知するようにしてください。

A.2 POLYCENTER ソフトウェア・インストール・ユーティリティの使用法

ここでは、POLYCENTER ソフトウェア・インストール (PCSI) ユーティリティを使用して、DECwindows Motif をインストールする方法について説明します。DECwindows Motif 製品では、DIGITAL コマンド言語 (DCL) インタフェースを使用した PCSI をサポートしています。

この節の構成および内容は次のとおりです。

- 第 A.2.1 項, ヘルプの使用法
- 第 A.2.2 項, 製品リリース・ノートの抽出と印刷
- 第 A.2.3 項, DECwindows Motif ソフトウェアのインストール
- 第 A.2.4 項, エラーからの回復

システムにソフトウェア製品をインストールし、管理する方法および手順についての詳細は、『OpenVMS システム管理者マニュアル』を参照してください。

『OpenVMS システム管理者マニュアル』には、インストールを開始する前の準備に関する情報のほか、次のような各種トピックについての有用な情報が提供されています。

- インストールした製品の削除
- インストールした製品の設定変更
- 新しいロケーションへのソフトウェア・キットのコピー
- 製品情報の検索

必要とされるソフトウェアおよびライセンスについての情報は、第 A.1.4 項を参照してください。

警告

システム・ディスクのバックアップ・コピーがない場合は、DECwindows Motif をインストールしないようにしてください。DECwindows Motif をインストールする前に、(『OpenVMS Upgrade and Installation Supplement』に記載されている手順で) システム・ディスクのバックアップを行ってください。

インストール・プロシージャを開始する前に、第 A.1 節目を通し、インストールの前提条件と必要条件を確認してください。

A.2.1 ヘルプの使用方法

インストール・ユーティリティだけでなく、すべての PRODUCT コマンドおよび修飾子に関するオンライン・ヘルプを利用することができます。具体的なコマンドに関するヘルプを呼び出すには、DCL プロンプトで HELP コマンドの後にそのコマンド名と製品名を入力してください。

PRODUCT コマンドおよび修飾子についての詳細は、次のドキュメントを参照してください。

- 『OpenVMS システム管理者マニュアル』
- 『OpenVMS システム管理ユーティリティ・リファレンス・マニュアル』
- 『OpenVMS DCL デイクシヨナリ』

製品のインストール中に PCSI ユーティリティが問い合わせる質問についての詳細は、『OpenVMS システム管理者マニュアル』を参照してください。問い合わせが表示された場合は、たとえば次のようにして応答します。

- 値を入力し、Return キーを押してオプションを選択します。
- Return キーを押して、省略時の値を選択します。
- 応答を確認します。

オプションを選択するか、省略時の値を選択して質問に回答すると、インストール・ユーティリティは応答の内容を要約して画面に表示します。

この時点で、入力した内容に問題がないか、このままインストールを継続してもよいか問い合わせがあります。入力した応答を変更する場合は、NO と入力して Return キーを押します。再度応答を入力するか、NO と入力してインストール・ユーティリティを終了することもできます。

- Ctrl/Y でインストールを中止します。(このオプションはできるだけ使用しないようにしてください。)

A.2.2 製品リリース・ノートの抽出と印刷

インストール・プロシージャを開始する前に、製品のリリース・ノートに目を通してください。『HP DECwindows Motif for OpenVMS リリース・ノート』のコピーを取り出すには、PCSI キットの場所(デバイス名とディレクトリ)を示すように PCSI\$SOURCE を定義します。続いて、DCL プロンプトで、PRODUCT EXTRACT RELEASE NOTES コマンドを入力し、続いて製品名である DWMOTIF を入力します。

次の例を参照してください。

```
$ DEFINE PCSI$SOURCE DKA400:[PCSI_ALPHA_DWMOTIF131]
$ PRODUCT EXTRACT RELEASE_NOTES DWMOTIF
```

ファイルに抽出したリリース・ノートを印刷することができます。リリース・ノートを抽出するために、製品をインストールする必要はありません。

『日本語 HP DECwindows Motif for OpenVMS リリース・ノート』は、DECwindows Motif CD-ROM のドキュメント・ディレクトリに HTML と ASCII (.txt) 形式で収録されています。リリース・ノートその他の DECwindows Motif ドキュメントへのアクセス方法についての詳細は、『HP DECwindows Motif for OpenVMS リリース・ノート』を参照してください。

A.2.3 DECwindows Motif ソフトウェアのインストール

以降の各項で、POLYCENTER ソフトウェア・インストール・ユーティリティを使用して DECwindows Motif ソフトウェアをインストールする手順について説明します。

アカウントのクォータ、ディスク・スペース、システム・パラメータについては、第 A.1 節を参照してください。

A.2.3.1 インストールの開始

POLYCENTER ソフトウェア・インストール (PCSI) ユーティリティを起動するには、DCL プロンプトに対して次のコマンドを入力します。

```
$ DEFINE PCSI$SOURCE device:[PCSI_ALPHA_DWMOTIF131]
```

ここで、*device* はディストリビューション CD-ROM がマウントされているデバイスもしくはインストール・キットが置かれているデバイスの名前です。

次に、POLYCENTER ソフトウェア・インストール・ユーティリティを呼び出します。

```
$ PRODUCT INSTALL DWMOTIF
```

注意

この節で示されているヘルプ情報を参照したい場合は、/HELP 修飾子を指定して PRODUCT INSTALL コマンドを使用します。

いくつかのメッセージの継続行を除き、この章で示すすべての表示メッセージは、長い行でも紙面に収まるように左側に寄せています。このため実際に表示されるメッセージのインデントは、この章で示すものと異なる場合があります。

A.2.3.2 インストール・ダイアログ

インストール・ダイアログでは、最初に PCSI がこれからインストールしようとしている製品名を表示します。インストールを継続するか問い合わせがあります。続いて、製品名、著作権情報、プロダクト・オーソライゼーション・キー (PAK) 情報が表示されます。

The following product has been selected:

DEC AXPVMS DWMOTIF V1.3-1 Layered Product

Do you want to continue? [YES]

Configuration phase starting ...

You will be asked to choose options, if any, for each selected product and for any products that may be installed to satisfy software dependency requirements.

DEC AXPVMS DWMOTIF V1.3-1: DECwindows Motif

Compaq DECwindows Motif for OpenVMS Alpha, V1.3-1 is based on Version 11 Release 6.6 of the X Window System (X11R6.6) and OSF/Motif Version 1.2.5.

DECwindows Motif V1.3-1 provides both runtime and development support for the X Window System. Runtime and development support is provided for X11 Release 6.6 (X11R6.6) and OSF/Motif Version 1.2.5. For OSF/Motif Version 1.1.3, only runtime support is provided.

Copyright 2003 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Motif is a registered trademark and The Open Group is a trademark of The Open Group in the United States and/or other countries.

Confidential computer software. Valid license from HP and/or its subsidiaries required for possession, use, or copying. Consistent with FAR 12.211 and 12.212, Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items are licensed to the U.S. Government under vendor's standard commercial license.

Hewlett-Packard Company

This software product is sold by Hewlett-Packard Company

This product uses the PAK: DW-MOTIF

This software is furnished under the licensing provisions of Hewlett-Packard Company's Standard Terms and Conditions. For more information about Compaq's licensing terms and policies, contact your local HP office.

A.2.3.2.1 システム・パラメータ値の確認 インストレーション・コマンド・プロシージャは、システム・パラメータに適切な値が割り当てられているか確認します(第 A.1.7.3 項および第 A.1.7.4 項を参照)。システム値が十分であれば、インストレーションがそのまま進行します。値が十分でない場合、インストレーションは中止され、AUTOGEN を実行したあとに、インストレーションを再開するよう求められます。次のようなメッセージが画面に表示されます。

Checking values of system parameters...

```
%DECW-W-BADVALUE, SYSGEN parameter GBLSECTIONS is 380, should be at least 600
%DECW-W-BADVALUE, Free GBLSECTIONS is 15, should be at least 260
%DECW-W-BADVALUE, SYSGEN parameter GBLPAGES is 120000, should be at least 150000
%DECW-W-BADVALUE, SYSGEN parameter NPAGEDYN is 1294336, should be at least 1998848
%DECW-W-BADVALUE, SYSGEN parameter CLISYMTBL is 265, should be at least 512
```

The installation procedure has determined that some system parameter values require modification to install the DECwindows Motif V1.3-1 for OpenVMS software.

Please type the following command to run AUTOGEN and reboot your system before restarting the DECwindows installation. This will set the system parameters to appropriate values for running DECwindows Motif V1.3-1.

```
@SYS$UPDATE:AUTOGEN GETDATA REBOOT CHECK_FEEDBACK
```

The DECwindows installation is being terminated.

Please run AUTOGEN and restart the installation.

```
%PCSI-E-S_OPFAIL, operation failed
%PCSIUI-E-ABORT, operation terminated due to an unrecoverable error condition
```

A.2.3.2.2 AUTOGEN の実行 インストレーション中に、AUTOGEN を実行してシステム値を訂正するよう求められた場合は、次のコマンドを入力します。

```
$ @SYS$UPDATE:AUTOGEN GETDATA REBOOT CHECK_FEEDBACK
```

AUTOGEN が実行され、次の例のようなログが生成されます。

%AUTOGEN-I-BEGIN, GETDATA phase is beginning.
%AUTOGEN-I-NEWFILE, Previous contents of SYSS\$SYSTEM:CLU\$PARAMS.DAT have
been copied to SYSS\$SYSTEM:CLU\$PARAMS.OLD. You may wish to purge
SYSS\$SYSTEM:CLU\$PARAMS.OLD.
%AUTOGEN-I-NEWFILE, A new version of SYSS\$SYSTEM:PARAMS.DAT has been created.
You may wish to purge this file.
%AUTOGEN-I-END, GETDATA phase has successfully completed.
%AUTOGEN-I-BEGIN, GENPARAMS phase is beginning.
%AUTOGEN-I-NEWFILE, A new version of SYSS\$MANAGER:VMSIMAGES.DAT has been created.
You may wish to purge this file.
%AUTOGEN-I-NEWFILE, A new version of SYSS\$SYSTEM:SETPARAMS.DAT has been created.
You may wish to purge this file.
%AUTOGEN-I-END, GENPARAMS phase has successfully completed.
%AUTOGEN-I-BEGIN, GENFILES phase is beginning.
%AUTOGEN-I-REPORT, AUTOGEN has produced some informational messages which
have been stored in the file SYSS\$SYSTEM:AGEN\$PARAMS.REPORT. You may
wish to review the information in that file.
%AUTOGEN-I-END, GENFILES phase has successfully completed.
%AUTOGEN-I-BEGIN, SETPARAMS phase is beginning.
%AUTOGEN-I-SYSGEN, parameters modified
%AUTOGEN-I-END, SETPARAMS phase has successfully completed.
%AUTOGEN-I-BEGIN, REBOOT phase is beginning.
The system is shutting down to allow the system to boot with the
generated site-specific parameters and installed images.
The system will automatically reboot after the shutdown and the
upgrade will be complete.

SHUTDOWN -- Perform an Orderly System Shutdown
on node MYNODE

インストレーションを再開することができます (第 A.2.3.1 項を参照してくださ
い)。

A.2.3.2.3 プログラミング環境の保存 インストール中に、OSF/Motif リリース 1.1.3 プログラミング環境がシステムに存在するかどうかチェックされます。すでに存在する場合は次の情報が表示され、OSF/Motif リリース 1.1.3 プログラミング環境を保存するかどうか問い合わせがあります。

The DECwindows Motif programming environment was installed with a previous version of this kit. This environment is incompatible with the OSF/Motif Release 1.2 environment provided with DECwindows Motif Version 1.2-6. The XUI programming environment is also not included in DECwindows Motif Version 1.3.

If you intend to continue developing programs for XUI or OSF/Motif Release 1.1.3, then save this environment. Please refer to the installation guide for more details and information on accessing these files in their new location.

If you do not choose to save the XUI and OSF/Motif Release 1.1.3 programming environment, those files will be removed from the system disk.

Save the OSF/Motif Release 1.1.3 and XUI programming environment?

Yes と応答して Return キーを押すと、OSF/Motif リリース 1.1.3 および XUI プログラミング環境が保存されます。サブディレクトリ[.DECWS113]が作成され、プログラミング環境をサポートするファイルがこのサブディレクトリに移動されます。

No と応答して Return キーを押すと、ファイルは削除されます。

OSF/Motif リリース 1.1.3 プログラミング環境に関連するファイルへのアクセスについての詳細は、第 A.1.5 項を参照してください。

A.2.3.2.4 省略時のインストール 次に、省略時のインストールを希望するかどうか問い合わせがあります。以前に DECwindows Motif をインストールしていないシステムの場合は、使用しているハードウェア・プラットフォームに該当するすべてのオプションが自動的にインストールされます。以前に DECwindows Motif をインストールしているシステムの場合は、以前のインストールで選択されたすべてのオプションが自動的にインストールされます。インストール済みバージョンに存在しないオプションについては、V1.3 では省略時の値が使用されます。

Do you want the defaults for all options? [YES]

以降の部分は、No と応答した場合の手順について説明します。

A.2.3.2.5 LBX プロキシのインストール 次にサーバのインストールで、LBX (Low-Bandwidth X) プロキシ・オプションをインストールしたいかどうか尋ねるダイアログが表示されます。

The LBX proxy reduces the overall network bandwidth required for client-to-server communications. The LBX proxy can be installed as a standalone option or in conjunction with the DECwindows Motif client software.

Install Low Bandwidth X (LBX) Support [YES]

LBX の機能についての詳細は、『*HP DECwindows Motif for OpenVMS Alpha New Features*』を参照してください。

A.2.3.2.6 クライアント・ソフトウェアのインストールの選択 次に、クライアント・ソフトウェアをインストールするかどうか尋ねられます。

Install the DECwindows Motif V1.3-1 client software? [YES]

インストールを行っているシステムあるいはその他のリモート・システムで、DECwindows の表示が必要なプログラムを実行する場合は Yes と答えます。

No と答えた場合は第 A.2.3.2.10 項へ進みます。

Yes と答えた場合、省略時のクライアント・インストールを行うかどうか尋ねられます。

Do you want the defaults for all suboptions? [YES]

Yes と答えると、以下のクライアント・インストールに対して省略時の設定が適用されます。Yes と答えた場合は第 A.2.3.2.10 項へ進みます。No と答えた場合は第 A.2.3.2.7 項へ進みます。

A.2.3.2.7 デスクトップの選択についての質問 インストールのこの段階で、New Desktop および従来の DECwindows デスクトップについての情報が表示されます。どちらかのデスクトップを選択してインストールするか、あるいは両方をインストールするか選択することができます。New Desktop のインストールを選択した場合、New Desktop を省略時のデスクトップとして設定するかどうか尋ねてきます。

The New Desktop is a graphical user interface that is derived from the Common Desktop Environment (CDE). It offers the following features not available with the traditional DECwindows desktop:

- o Multiple workspaces for greater flexibility in managing windows on the screen.
- o An icon-based File Manager to make it easier to manipulate files from the graphical user interface.
- o Enhanced support for the drag-and-drop feature, which is fully supported in the new File Manager and Application Manager applications.
- o New Image Viewer and Icon Editor applications.

Both the New Desktop and the DECwindows desktop provide the same underlying X and Motif libraries and the same DECTerm, Bookreader, Mail, and Calendar applications.

Install New Desktop [YES]

The manual pages provide online help text for New Desktop functions. If installed they can be viewed using the man page viewer from the Application Manager.

Install Manual (reference) pages for the New Desktop [YES]

If the New Desktop is the default, the new login box will be used and the user has the option at login to use either the New or the traditional desktop.

If the New Desktop is not the default, the traditional login box will be used and only the traditional desktop will be available.

You can change the default desktop by editing the file [SYSMGR]DECW\$DEFAULT_DESKTOP.COM and restarting DECwindows.

Make the New Desktop the default desktop [YES]

The traditional DECwindows Desktop is that provided since Version 1.2 of DECwindows. If both new and traditional desktops are installed the user can select which to run when logging in.

Install traditional DECwindows Desktop [YES]

インストール終了後にデスクトップの選択を変更する手順については、第 A.3.4 項を参照してください。

A.2.3.2.8 プログラミング言語サポート・オプション 次に、どのプログラミング言語をインストールするか、プログラミング・サンプルをインストールするかどうか問い合わせがあります。

次のようなダイアログが表示されます。

Headers and related files to support programs in C that will use the DECwindows libraries.

Programming Support for the C Language [YES]

Include files to support programs in Pascal that will use the DECwindows libraries.

Programming Support for the Pascal Language [YES]

Include files to support programs in FORTRAN that will use the DECwindows libraries.

Programming Support for the FORTRAN Language [YES]

Headers and related files to support programs in C that will use the New Desktop widgets.

Programming Support for the New Desktop [YES]

Examples of programming to use the various libraries.

Programming examples [YES]

Do you want all the defaults for the subitems? [YES] no

Sample sound files that can be used with DECsound.

Sound example files [YES]

Examples, in various programming languages, of using the DECwindows and standard widgets and libraries.

Programming examples for DECwindows [YES]

Examples, in C, of using the new widgets provided with the New Desktop.

Programming examples for the New Desktop [YES]

A.2.3.2.9 変換イメージのサポート 本バージョンでは、TIS (Translated Image Support) をインストールするように求めるプロンプトが表示されます。これは、VAX プログラムが DECwindows Motif for OpenVMS Alpha 環境で動作できるようにするものです。TIS サポートは、従来の DECwindows デスクトップ環境でのみ使用できます。

Translated Image Support

Translated image support allows programs translated from the VAX environment to work in the Alpha environment with the DECwindows libraries. Translated image support is not available for the New Desktop.

Translated Image Support [YES]

A.2.3.2.10 言語バリエーションについての注意 ここで、言語バリエーションのアップデートについての警告がダイアログに表示されます。必ず、DECwindows Motif Version 1.3-1 をインストールしてから、使用したいすべての言語についての DECwindows Motif Version 1.3-1 の言語バリエーションをインストールするようにしてください。

If a Local Language Variant is installed, refer to the Installation Guide.

If you have a language variant of DECwindows Motif installed then you must upgrade to the version for DECwindows Motif V1.3-1 after completing this installation and before rebooting the system. A failure to do so could prevent DECwindows from starting.

If there is no local language variant upgrade available for DECwindows Motif V1.3-1 then you should remove the local language variant before installing DECwindows Motif V1.3-1.

Do you want to continue? [YES]

A.2.3.2.11 インストール・オプションの確認 インストール・ダイアログで選択したオプションを確認するかどうか問い合わせがあります。

Do you want to review the options? [NO] y

```
DEC AXPVMS DWMOTIF V1.3-1: DECwindows Motif
DEC AXPVMS VMS V7.3-2 [Installed]
Install Low Bandwidth X (LBX) Support: YES
Install the DECwindows Motif V1.3-1 client software: YES
  Install New Desktop: YES
    Install Manual (reference) pages for the New Desktop: YES
    Make the New Desktop the default desktop: YES
  Install traditional DECwindows Desktop: YES
  Programming Support for the C Language: YES
  Programming Support for the Pascal Language: YES
  Programming Support for the FORTRAN Language: YES
  Programming Support for the New Desktop: YES
  Programming examples: YES
    Sound example files: YES
    Programming examples for DECwindows: YES
    Programming examples for the New Desktop: YES
  Translated Image Support: YES
```

Are you satisfied with these options? [YES]

A.2.3.2.12 実行ダイアログ この時点で、インストール・ダイアログのすべての問い合わせに答えたこととなります。ここから実行段階に入ります。まず、インストールあるいは削除するすべての製品名が表示されます。インストールの進行状況が表示されます。

注意

実行段階では、DECwindows Motif サポート・ファイルのチェックが行われます。これらのファイルが使用できない場合、処理を継続するかどうかの問い合わせがあります。詳細については、第 A.2.3.2.13 項を参照してください。

Execution phase starting ...

The following product will be installed to destination:

```
DEC AXPVMS DWMOTIF V1.3-1          DISK$ALPHASYS:[VMS$COMMON.]
```

Portion done: 0%
...10%
...20%
...30%
...40%
...50%
...60%
...70%
...80%
...90%

A.2.3.2.13 DECwindows Motif サポート・ファイルの確認 インストレーションのこの段階で、DECwindows Motif アプリケーションおよび実行時サポート・ファイルがオペレーティング・システムにインストールされていることがチェックされます (DECwindows Motif ソフトウェアの実行に必要なトランスポート・ファイル、フォント・ファイルなどです)。

**** DECwindows Motif application and run-time support files DETECTED ****

OpenVMS Alpha システムでは、必要なファイルがインストールされていない場合でも常に、ファイルがインストールされます。

次に、システムをワークステーションまたはワークステーション・ブート・サーバとして使用するために必要なサポート・ファイルがインストールされているかチェックされます。サポート・ファイルがインストールされていれば、次のメッセージが表示されます。

**** DECwindows device support files DETECTED ****

OpenVMS Alpha システムで、ファイルがインストールされていない場合は、システムをワークステーションまたはワークステーション・ブート・サーバとして使用できないことを通知する次の警告メッセージが表示されます。

The DECwindows device support files for using this machine as a workstation or as a boot node for workstations have not been installed.

You can use the POLYCENTER Software Installation utility to change the options selected when the OpenVMS Alpha software was installed. See the POLYCENTER Software Installation Utility User's Guide for more information. To add the support files and the 75DPI and/or the 100DPI font files using the DECwindows save sets which are shipped with the OpenVMS kit, use the PRODUCT RECONFIGURE command as follows:

```
$ PRODUCT RECONFIGURE VMS
```

You should add the "Support for DECwindows" subclass in the Utilities class.

次のような問い合わせがあります。

Do you wish to continue with this installation without the workstation support?

No (省略時の値) と応答して Return キーを押すと、インストールは中止します。必要なサポート・ファイルの追加については第 A.4.2 項を参照してください。必要なサポート・ファイルを追加した後、インストールを再開します。

Yes と応答して Return キーを押すと、インストールがそのまま進行します。

OpenVMS オペレーティング・システムおよび DECwindows を同時にインストールまたはアップグレードする場合は、インストールのこの部分は該当しません。

A.2.3.2.14 インストールの最終メッセージの確認 インストールが無事完了すると、インストールまたは削除された製品のリストが表示されます。最後に、DECwindows Motif 製品のインストール完了を通知する最終メッセージが表示されます。

...100%

The following product has been installed:

```
DEC AXPVMS DWMOTIF V1.3-1          Layered Product
```

DEC AXPVMS DWMOTIF V1.3-1: DECwindows Motif

System reboot will be required following upgrade of language variants.

A system reboot will be required to install the new DECwindow Motif images. If this is a new installation you should execute AUTOGEN using the following command:

```
$ @SYS$UPDATE:AUTOGEN GETDATA REBOOT CHECK_FEEDBACK
```

This command adjusts your system parameters and reboots the system.

If you wish to use DECwindows with any language other than English, install the appropriate DECwindows Motif V1.3-1 language variant product before using AUTOGEN or rebooting the system.

Installation Verification Procedure can be run after reboot.

Run the Installation Verification Procedure (IVP) after the installation is completed and the system is rebooted. The IVP is located in the following directory: SYS\$TEST:DECW\$IVP.COM.

A.2.4 エラーからの回復

インストール中に、以下のいずれかの状況が存在する場合はエラーが発生する可能性があります。

- オペレーティング・システムのバージョンが正しくない場合。
- 必要とするソフトウェア・バージョンが正しくない場合。
- インストールに必要なクォータが不足している場合。
- インストール・ユーティリティに必要なプロセス・クォータが十分でない場合。
- OpenVMS のヘルプ・ライブラリが現在使用中である場合。

これらの状態により発生したエラー・メッセージの説明については、「まえがき」の「関連ドキュメント」に示したドキュメントを参照してください。これらのドキュメントにエラーの分析と対処方法が示されています。

なんらかの理由によりインストールに失敗した場合、POLYCENTER ソフトウェア・インストール・ユーティリティは、次のようなメッセージを表示します。

```
%PCSIUI-INSFAIL, The installation of DECwindows Motif V1.3-1 for  
OpenVMS has failed.
```


インストールに失敗した場合は、問題を解決してからインストールを再度実行してください。

A.2.5 インストール後のパラメータの調整

CD-ROM から OpenVMS オペレーティング・システムおよび DECwindows を同時にインストールまたはアップグレードした場合は、この時点でシステム・パラメータ値がチェックされます (表 1-2 および表 A-6 を参照)。

注意

DECwindows の新規インストールの場合は、このメッセージは表示されません。

インストールが正常に完了した場合は、DECwindows Motif の起動時に次のようなメッセージが表示されます。

```
%DECW-W-BADVALUE, SYSGEN parameter GBLPAGES is 120000, should be at least 150000
%DECW-W-BADVALUE, Free GBLPAGES is 75040 should be at least 92000
%DECW-W-BADVALUE, SYSGEN parameter CLISYMTBL is 256, should be at least 512
Some SYSGEN parameters must be reset for DECwindows to start. If you type
YES, AUTOGEN will change these parameters and reboot your system. If you type
NO, AUTOGEN will not be run or cause a reboot but DECwindows will not start.
Do you want the system to run AUTOGEN for you [YES]
```

ここで、RETURN キーを押してください。自動的に AUTOGEN を実行してシステム・パラメータを調整し、システムを再ブートした後に DECwindows のログイン画面が表示されます。

A.3 ソフトウェア・インストール完了後の作業

ここでは、DECwindows Motif のインストールが完了後に実行する必要がある作業について説明します。

- 第 A.3.1 項, DECwindows Motif ソフトウェアの起動
- 第 A.3.2 項, IVP (インストール検証プロシージャ) の実行

- 第 A.3.3 項, 代替コンソールの選択
- 第 A.3.4 項, デスクトップの選択

A.3.1 DECwindows Motif ソフトウェアの起動

DECwindows Motif のインストール後にシステムを再ブートすると、システムの再起動時に DECwindows のスタートアップ・プロシージャが自動的に実行されます。OpenVMS Alpha システムでは、DECW\$START_NEW_DESKTOP グローバル・シンボルの値に応じて、New Desktop のログイン・ダイアログ・ボックスあるいは DECwindows デスクトップのセッション開始ダイアログ・ボックスのいずれかが表示されます (詳細は第 A.3.4 項を参照してください)。

システムに DW-MOTIF の有効なライセンスが登録されていない場合は、コンソール端末にその旨のメッセージが表示され、DECwindows Motif は自動的に起動されません。この場合は、システムにログインして有効なライセンスを登録してから DECwindows Motif ソフトウェアを起動してください。LMF を使用してライセンスを登録する方法についての詳細は、『VMS License Management Utility Manual』を参照してください。DECwindows の起動方法の詳細については『日本語 DECwindows Motif for OpenVMS 環境設定の手引き』を参照してください。

A.3.2 IVP (インストール検証プロシージャ) の実行

DECwindows Motif をインストールして起動した後、IVP (Installation Verification Procedure) SYS\$TEST:DECW\$IVP.COM を実行します。IVP には、ソフトウェアのインストールが完全かつ正確に行われたかどうかを確認する 6 つのテストが含まれています。

A.3.2.1 プロシージャの実行

IVP プロシージャを起動するには SYS\$TEST:DECW\$IVP コマンド・プロシージャを実行します。簡単な指示とともにダイアログが表示されます。

\$ @SYS\$TEST:DECW\$IVP

Copyright 2003 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Compaq DECwindows Motif for OpenVMS Alpha Installation Verification Procedure (IVP)

This IVP is intended to test some of the functionality of DECwindows Motif and to provide a quick method of verifying the installation.

注意

LAT ソフトウェアを使用して LAT X 端末から IVP を実行する場合、最初に次のコマンドを入力してください。

```
$ SET DISPLAY/CREATE/NODE=LAT_nnnnnnnnnnnn/TRANSPORT=LAT
```

nnnnnnnnnnには実際の LAT 端末番号を入力してください。

_Display:プロンプトでデフォルトを入力することもできます。

A.3.2.2 表示関連テスト

次に、IVP プロシージャは2つの表示関連テストを実行しようとしています。これらのテストを実行するかどうか、またその動作の内容は、お使いのハードウェアによって、およびシステムにテスト・イメージが存在するかどうかによって異なります。

- テスト・イメージが存在し、かつワークステーションからテストを実行している場合は、表示関連テストをどこに表示するか確認のための問い合わせがあります。通常、現在お使いのワークステーションがデフォルトの表示場所です。デフォルトの表示場所は、通常、IVP 実行しているプロセスに対応する DECW\$DISPLAY 論理名の値で決まります。この論理名は、ローカル・ディスプレイ・サーバあるいはリモート・ディスプレイ・サーバのどちらかを指します。
- テスト・イメージが存在し、かつワークステーションを使用していない場合、_Display:プロンプトでノード名を入力する必要があります。この場合、DECW\$DISPLAY 論理名は定義されていないのでデフォルト値は表示されません。たとえば、SET HOST コマンドを使用してシステムにアクセスし、DECW\$DISPLAY 論理名を定義していない場合、IVP はユーザがワークステーションを使用しているかどうか判断できません。表示を行いたいノードの名前を入力してください。

- IVP がイメージを検出しなかった場合は、メッセージが表示されテストは実行されません。

表示関連テストを実行したくない場合は、プロンプトで Ctrl/Z を入力してください。

次の例は、ワークステーションにおける表示テストの実行例です。表示デバイス_WSA150は、ローカル・ディスプレイでもリモート・ディスプレイでもかまいません。

To skip the display-oriented tests, press Ctrl/Z at the following prompt.

```
_Display:[_WSA150]:  
%DECW-I-IVP, The IVP will display on WSA150:  
%DECW-I-IVP, Running DECW$EXAMPLES:ICO.EXE for up to a minute.  
%DECW-I-IVP, Press Ctrl/Y to interrupt test.  
%DCL-S-SPAWNED, process DECW$IVP_ICO spawned  
%DECW-I-IVP, Running SYS$SYSTEM:DECW$CLOCK for up to a minute.  
%DECW-I-IVP, Press Ctrl/Y to interrupt test.  
%DCL-S-SPAWNED, process DECW$IVP_CLOCK spawned
```

次の例ではワークステーションでないシステムでテストを実行しています。

```
This machine is not a workstation. Please provide the node name of a  
workstation on which to display the IVP tests. You must be sure that this  
account and node have security access to the display node, or the IVP will  
fail.
```

To skip the display-oriented tests, press Ctrl/Z at the following prompt.

```
_Display []: NODE33  
%DECW-I-IVP, The IVP will display on NODE33::0.0
```

この後表示されるメッセージは、ワークステーションの場合と同じです。

A.3.2.3 LBX IVP テスト

次に、表示関連テストが選択され必要なイメージが利用できる状態であれば、プロセスは LBX プロキシ・テストを実行しようとしています。テスト結果のメッセージ表示は、前のセクションでディスプレイ名あるいはノード名が入力されたかどうかによって、および、ディスプレイ名が入力された場合はそのディスプレイがローカル・ディスプレイかあるいはリモート・ディスプレイかによって、また、ローカル・ディスプレイの場合はそのディスプレイが LBX テストをサポートするように適切に構成されているかどうかによって変わります。次に示すのは、考えられるいくつかのケースにおける IVP の動作例です。

- IVP 対話の最初の部分で入力されたディスプレイがローカル・ディスプレイで、ディスプレイ・サーバが LBX および SECURITY 機能をサポートするように構成されており、IVP プロセスが必要な特権を持っている場合は、IVP は次のようなメッセージを表示します。

```
%DECW-I-IVP, LBX Proxy tests, tests will execute through a proxy
%DECW-I-IVP, Running DECW$EXAMPLES:ICO.EXE for up to a minute.
%DECW-I-IVP, Press Ctrl/Y to interrupt test.
%DCL-S-SPAWNED, process DECW$IVP_LBX spawned
Using port number '50'
%DCL-S-SPAWNED, process DECW$IVP_ICO spawned
%DECW-I-IVP, End of LBX Proxy tests
```

- IVP 対話の最初の部分で入力されたディスプレイがリモート・ディスプレイの場合、プロセスは、ディスプレイ・サーバが LBX および SECURITY 機能をサポートするかどうか判断できません。リモート・サーバが適切に構成されていない場合はテストが失敗する旨警告メッセージが表示されます。次の例で示すのは、リモート・ディスプレイが選択され、IVP を実行しているプロセスが必要な特権を持っている場合の IVP の LBX に関する部分です。リモート・サーバが適切に構成されている場合、この後に表示される LBX に関する部分のメッセージは最初の例のメッセージと同じです。リモート・サーバが適切に構成されていない場合は、LBX テスト (および IVP) は失敗します。

The LBX tests can only be executed if the display server has been configured to support the LBX and SECURITY extensions and this account has permission to generate cookies. Normally, remote servers will not give that permission and the LBX tests cannot be executed.

Answer "NO" at the following prompt to skip the LBX tests.

Execute LBX test? YES

- IVP 対話の最初の部分で入力されたディスプレイがローカル・ディスプレイで、ディスプレイ・サーバが LBX および SECURITY 機能をサポートするように構成されているが、IVP プロセスが必要な特権を持っていない場合は、IVP は次のようなメッセージを表示します。

%DECW-I-IVP, No privilege to execute LBX part of test. Proxy test skipped.

- IVP 対話の最初の部分で入力されたディスプレイがローカル・ディスプレイで、ディスプレイ・サーバが LBX 機能をサポートするように構成されていない場合、IVP は次のようなメッセージを表示します。

%DECW-I-IVP, Server does not support LBX extension. Proxy test skipped.

- IVP 対話の最初の部分で入力されたディスプレイがローカル・ディスプレイで、ディスプレイ・サーバが SECURITY 機能をサポートするように構成されていない場合、IVP は次のようなメッセージを表示します。

%DECW-I-IVP, Server does not support SECURITY extension. Proxy test skipped.

- IVP 対話の最初の部分でディスプレイ名の変わりにノード名が入力された場合、IVP は次のようなメッセージを表示します。

%DECW-I-IVP, LBX Proxy tests need a display device. Proxy test skipped.

A.3.2.4 表示関連以外のテスト

最後に、IVP は表示関連以外の 2 つのテストを実行します。

- 3 つのうち最初のテストは Motif UIL コンパイラを起動します。プログラミング・サポートをインストールしていない場合、IVP は、Motif UIL イメージが存在しないためこのテストは実行されない旨通知するメッセージを表示します。このテストが実行された場合、終了状態が通知されます。

- 最後のテストでは、テキスト・ファイルが DDIF フォーマットに変換され、その後テキストに戻されて、元のテキスト・ファイルと変換されたファイルが比較されます。ファイルが一致する場合、テストは成功しています。ユーザに終了状態が通知されます。

次の例は、最後の 2 つのテストについての IVP の出力です。

```
%DECW-I-IVP, Invoking the UIL Motif compiler...
%DECW-S-IVP, The UIL Motif compiler test completed successfully.
%DECW-I-IVP, Beginning CONVERT/DOCUMENT IVP...
%DECW-S-IVP, CONVERT/DOCUMENT IVP passed.
%DECW-S-IVP, The IVP has completed.
$
```

A.3.3 代替コンソールの選択

DECwindows Motif ソフトウェアでは、メイン・コンソールからすべての構成をブートすることができます。オペレータ・ウィンドウを表示するかしないかは Ctrl/F2 で切り替えることができます。メイン・コンソールは常にワークステーションの画面です。

メイン・コンソール (ワークステーション画面) にログインしている場合、DECwindows を起動する前にログアウトする必要があります。メイン・コンソールから次のコマンドを実行してください。

```
$ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP
```

コマンド・プロシージャが完了したあと、メイン・コンソールからログアウトします。ログアウトしない場合は、サーバは起動せず、ログイン・ボックスは表示されません。

ターミナル・ポート経由でワークステーションに接続したターミナルを代替コンソールとして使用することができます。

メイン・コンソールからブートした場合、DECwindows Motif スタートアップ・コマンド・プロシージャを起動した際に代替コンソールに接続されます。

代替コンソールからシステムをブートする場合、コンソール・ウィンドウ・アプリケーションを起動することはできません。このアプリケーションについては、リリース・ノートに説明があります。

A.3.4 デスクトップの選択

OpenVMS Alpha システムの場合、DECwindows Motif には、2 種類のデスクトップのオプションがあります。CDE (共通デスクトップ環境) から派生した New Desktop および従来の DECwindows ウィンドウです。

インストール中に、New Desktop および従来の DECwindows ウィンドウの両方をインストールする選択をした場合、どちらを省略時の設定にするか問い合わせがあります。

省略時の設定としてもう一方のデスクトップを選択する場合は、次の手順を実行してください。

1. SYSSMANAGER:DECW\$PRIVATE APPS SETUP.COM ファイルが存在しない場合は DECW\$PRIVATE APPS SETUP.TEMPLATE からコピーします (または、以前のバージョンの DECwindows Motif をシステムにインストールしていない場合は、新規に作成します)。次の例を参照してください。

```
$ COPY SYSSMANAGER:DECW$PRIVATE_APPS_SETUP.TEMPLATE -  
_ $ SYS$COMMON:[SYSMGR]DECW$PRIVATE_APPS_SETUP.COM
```

2. SYSSMANAGER:DECW\$PRIVATE_APPS_SETUP.COM を編集し、DECW\$START_NEW_DESKTOP のシンボル定義を追加します。New Desktop を省略時の設定にしたい場合は、次のグローバル・シンボル定義を入力します。

```
$ DECW$START_NEW_DESKTOP == "TRUE"
```

DECwindows デスクトップを省略時の設定にしたい場合は、次のグローバル・シンボル定義を入力します。

```
$ DECW$START_NEW_DESKTOP == "FALSE"
```


3. 次のコマンドを実行して、DECwindows を再起動します。

```
$ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP RESTART
```

A.4 DECwindows Motif ソフトウェアの管理

DECwindows Motif 製品のインストール後にシステムをチューニングすることにより、システムの性能を向上させ、システム・リソースの消費を低減し、特定のサーバ設定を行うことができます。ここでは、DECwindows Motif 環境の設定について説明します。システム管理についての詳細は、『日本語 DECwindows Motif for OpenVMS 環境設定の手引き』を参照してください。

この節の構成および内容は次のとおりです。

- 第 A.4.1 項, DECwindows X11 ディスプレイ・サーバのスタートアップ・プロシージャ
- 第 A.4.2 項, DECwindows ベース・サポート・ファイル
- 第 A.4.3 項, 問題の確認と報告

A.4.1 DECwindows X11 ディスプレイ・サーバのスタートアップ・プロシージャ

DECwindows X11 ディスプレイ・サーバは、ディスプレイ、キーボード、マウスなどのワークステーションのグラフィックス装置を管理します。スタートアップ・コマンド・プロシージャは、DECwindows X11 ディスプレイ・サーバのほとんどの構成パラメータを自動的に決定します。ただし、次に示すように、コマンド・プロシージャが決定できない項目がいくつかあります。

- サーバと関連のあるスクリーンのリスト
- 各スクリーンのフォント、解像度、カラー機能
- キーボードのレイアウト (LK201-AA, LK401-AA など)
- 適切なネットワーク・トランスポート

- 有効なフォント・サーバのリストとシステムでフォント・サーバを動かすかどうか
- クライアント接続の監視レベル
- 起動する X サーバ拡張 (XINERAMA , SECURITY , あるいは XKB など) のリスト
- 現在のセキュリティ・ポリシ (SECURITY を使用する場合)
- X 認証ファイルの現在の場所
- このサーバへのトラステッド・アクセスが可能なユーザのリスト
- マルチヘッド構成におけるスクリーンの数と順番 (XINERAMA を使用する場合)
- X キーボード・レイアウトと関連オプション (XKB を使用する場合)

サーバ・スタートアップ・ファイルを次のように変更することにより、これらのディスプレイ・サーバ設定を指定することができます。

1. SYSSMANAGER:DECW\$PRIVATE_SERVER_SETUP.TEMPLATE ファイルのコピーを作成し、それを SYSSMANAGER:DECW\$PRIVATE_SERVER_SETUP.COM という名前に変更します。このサーバ・スタートアップ・ファイルに、各ワークステーション用の DCL コマンド部分を追加して、個々のワークステーションを設定する方法を明示します。
2. サーバ・スタートアップ・ファイルの 2 つのセクションのいずれかにセットアップ・オプションを追加あるいは変更するためにファイルを編集します。これらのオプションの詳細は、『日本語 DECwindows Motif for OpenVMS 環境設定の手引き』、『HP DECwindows Motif for OpenVMS Alpha New Features』、あるいはファイルそのものを参照してください。“Cluster Common or Standalone Workstation Setup”セクションに追加したセットアップ・オプションは、クラスタ内のすべてのノードに対して有効となります。“Cluster Member Workstation-Specific Setup”部分に追加したセットアップ・オプションは、特定のノードに対してのみ有効となります。ワークステーション固有のオプションを追加した場合は、変数 *node_list* も変更しなければなりません。

3. 次のコマンドを使用して、サーバ・スタートアップをカスタマイズしたワークステーション上で DECwindows Motif を再起動します。

```
$ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP RESTART
```

A.4.2 DECwindows ベース・サポート・ファイル

DECwindows ベース・サポート・ソフトウェアをインストールしなかった場合あるいは削除した場合は、DECwindows Motif をサポートするように指定してオペレーティング・システムを再構成してください。

A.4.2.1 OpenVMS オペレーティング・システムの再構成

DECwindows Motif をサポートするように OpenVMS Alpha オペレーティング・システムを再構成するには、PRODUCT RECONFIGURE コマンドを使用してください。

A.4.3 問題の確認と報告

DECwindows Motif を使用していて問題が発生した場合は、弊社にご連絡ください。保証の詳細については、『ソフトウェア仕様書』で確認してください。保証期間中に問題が発生した場合は、弊社のサポート担当者に連絡してください。

A.5 POLYCENTER ソフトウェア・インストレーション・ユーティリティを使用したインストレーション実行例

ここでは、OpenVMS Alpha Version 7.3-2 オペレーティング・システムにおける DECwindows Motif のインストレーション例を示します。

POLYCENTER ソフトウェア・インストレーション (PCSI) ユーティリティを使用して DECwindows Motif ソフトウェアをインストールする方法の詳細は、第 A.2 節を参照してください。

ここに示すインストレーション実行例では、省略時のディレクトリを、DECwindows Motif セーブセットと必要な ECO を含むデバイス名とディレクトリに設定していることを想定しています。

A.5.1 OpenVMS Alpha Version 7.3-2 システムにおけるインストール例

例 A-1 に示すのは、十分なシステム・リソースを持つ OpenVMS Alpha Version 7.3-2 オペレーティング・システムにおける DECwindows Motif のインストール実行例です。

例 A-1 十分なシステム・リソースを持つ OpenVMS Alpha Version 7.3-2 システムにおける DECwindows Motif のアップグレード・インストール例

```
$ PRODUCT INSTALL DWMOTIF 
```

The following product has been selected:

```
DEC AXPVMS DWMOTIF V1.3-1          Layered Product
```

```
Do you want to continue? [YES] 
```

Configuration phase starting ...

You will be asked to choose options, if any, for each selected product and for any products that may be installed to satisfy software dependency requirements.

```
DEC AXPVMS DWMOTIF V1.3-1: DECwindows Motif
```

```
Copyright 2003 Hewlett-Packard Development Company, L.P.
```

```
Hewlett-Packard Company
```

```
This product uses the PAK: DW-MOTIF
```

```
Checking values of system parameters...
```

```
OK
```

```
DECwindows Motif V1.3-1 cannot be uninstalled.
```

```
The DECwindows Motif for OpenVMS Alpha V1.3-1 software  
upgrade also updates certain images that are part of the OpenVMS Alpha  
operating system. Removing the DECwindows Motif V1.3-1 product
```

(次ページに続く)

例 A-1 (続き) 十分なシステム・リソースを持つ OpenVMS Alpha Version 7.3-2 システムに
おける DECwindows Motif のアップグレード・インストール例
(using PRODUCT REMOVE) does not restore the operating system
images to their proper state.

To revert to a previous version of DECwindows Motif, you must first
reinstall the OpenVMS Alpha operating system and then install the
appropriate version of DECwindows Motif.

Be sure that you want to install the DECwindows Motif V1.3-1 software
before proceeding.

Do you want the defaults for all options? [YES]

If a Local Language Variant is installed, refer to the Installation Guide.

Do you want to continue? [YES]

Do you want to review the options? [NO] Y

DEC AXPVMS DWMOTIF V1.3-1: DECwindows Motif
DEC AXPVMS VMS V7.3-2 [Installed]
Install Low Bandwidth X (LBX) Support: YES
Install the DECwindows Motif V1.3-1 client software: YES
Install New Desktop: YES
 Install Manual (reference) pages for the New Desktop: YES
 Make the New Desktop the default desktop: YES
Install traditional DECwindows Desktop: YES
Programming Support for the C Language: YES
Programming Support for the Pascal Language: YES
Programming Support for the FORTRAN Language: YES
Programming Support for the New Desktop: YES
Programming examples: YES
 Sound example files: YES
 Programming examples for DECwindows: YES
 Programming examples for the New Desktop: YES
Translated Image Support: YES

Are you satisfied with these options? [YES]

(次ページに続く)

例 A-1 (続き) 十分なシステム・リソースを持つ OpenVMS Alpha Version 7.3-2 システムに
おける DECwindows Motif のアップグレード・インストール例

Execution phase starting ...

The following product will be installed to destination:

DEC AXPVMS DWMOTIF V1.3-1 DISK\$2:[VMS\$COMMON.]

The following product will be removed from destination:

DEC AXPVMS DWMOTIF V1.3-0 DISK\$2:[VMS\$COMMON.]

Portion done: 0%

...10%

...20%

...30%

...40%

...50%

...60%

...70%

...80%

...90%

**** DECwindows Motif application and run-time support files DETECTED ****

**** DECwindows device support files DETECTED ****

...100%

The following product has been installed:

DEC AXPVMS DWMOTIF V1.3-1 Layered Product

The following product has been removed:

DEC AXPVMS DWMOTIF V1.3-0 Layered Product

DEC AXPVMS DWMOTIF V1.3-1: DECwindows Motif

System reboot is required.

Installation Verification Procedure can be run after reboot.

\$ Logout

A.6 ソフトウェア・コンポーネント

POLYCENTER ソフトウェア・インストール (PCSI) ユーティリティを使用して DECwindows Motif をインストールした場合は、インストールされているファイルとファイルのインストール先ディレクトリとサブディレクトリのリストを確認することができます。

このリストを呼び出すには、次の PCSI コマンドを入力してください。

```
$ PRODUCT SHOW OBJECT/product=dwmotif
```

次は、コマンドの出力結果の例です。

OBJECT	OBJECT TYPE	STATUS
-----	-----	-----
[000000]	directory	OK
[000000]DEC-AXPVS-DWMOTIF-V0103-1-1.PCSI\$DESCRIPTION	file	OK
[000000]DEC-AXPVS-DWMOTIF-V0103-1-1.PCSI\$TLB	file	OK
[CDA\$LIBRARY]	directory	OK
[CDA\$LIBRARY]CL_DAY.DOC_STYLE	file	OK
[CDA\$LIBRARY]DEFSTYLE.DDIF	file	OK
[CDE\$DEFAULTS]	directory	OK
[CDE\$DEFAULTS]	directory	OK
[CDE\$DEFAULTS.SYSTEM]	directory	OK
[CDE\$DEFAULTS.SYSTEM]	directory	OK
[CDE\$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS]	directory	OK
[CDE\$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.C]	directory	OK
[CDE\$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.C]DT.DAT	file	OK
[CDE\$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.C]DTCALC.DAT	file	OK
[CDE\$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.C]DTCREATE.DAT	file	OK
[CDE\$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.C]DTFILE.DAT	file	OK
[CDE\$DEFAULTS.SYSTEM.APP-DEFAULTS.C]DTHELLO.DAT	file	OK
.		
.		
.		

B

インストール/アンインストール実行例

ここでは、インストールの実行例と旧バージョンを削除するアンインストールの例を紹介します。

B.1 インストール実行例

以下に、日本語 OpenVMS Version 7.3-2 システムに国際化 DECwindows Motif V1.3-1 および日本語 DECwindows Motif V1.3-1 をインストールする場合の実行例を紹介します。

インストールは、国際化 DECwindows Motif V1.3-1，日本語 DECwindows Motif V1.3-1 の順に行います。

この例では、DECnet がシャットダウンしていて、ユーザがログインしていないことを前提としています。

B.1.1 国際化 DECwindows Motif V1.3-1 のインストール

```
$ PRODUCT INSTALL DWMOTIF_I18N /source=DKA400:[DWMA_JA_JPU1013.KIT]
```

```
The following product has been selected:
```

```
DEC AXPVMS DWMOTIF_I18N V1.3-1          Layered Product
```

```
Do you want to continue? [YES]
```

```
Configuration phase starting ...
```

```
You will be asked to choose options, if any, for each selected product and for any products that may be installed to satisfy software dependency requirements.
```

```
DEC AXPVMS DWMOTIF_I18N V1.3-1: DECwindows Motif/I18N
```

Copyright 2003 Hewlett-Packard Development Company, L.P.
Hewlett-Packard Company

* This product does not have any configuration options.

Execution phase starting ...

The following product will be installed to destination:

DEC AXPVMS DWMOTIF_I18N V1.3-1 DISK\$1:[VMS\$COMMON.]

Portion done: 0%...10%...20%...30%...40%...50%...60%...70%...90%...100%

The following product has been installed:

DEC AXPVMS DWMOTIF_I18N V1.3-1 Layered Product

DEC AXPVMS DWMOTIF_I18N V1.3-1: DECwindows Motif/I18N

This product requires the following SYSGEN parameters:

GBLPAGES add 3900

This product requires the following SYSGEN parameters:

GBLSECTIONS add 11

Installation of DECwindows Motif/I18N for OpenVMS Alpha completed.

You can install Locale Language Variant of DECwindows Motif.

\$

B.1.2 日本語 DECwindows Motif V1.3-1 のインストール

この例では、すべてのオプションをインストールします。

\$ **PRODUCT INSTALL JDECW /source=DKA400:[DWMA_JA_JPU1013.KIT]**

The following product has been selected:

DEC AXPVMS JDECW V1.3-1 Layered Product

Do you want to continue? [YES]

Configuration phase starting ...

You will be asked to choose options, if any, for each selected product and for any products that may be installed to satisfy software dependency requirements.

DEC AXPVMS JDECW V1.3-1: DECwindows Motif/Japanese

Copyright 2003 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

Hewlett-Packard Company

This product uses the PAK: DW-MOTIF and DW-MOTIF-UI-JAPANESE

Do you want the defaults for all options? [YES] **yes**

Do you want to review the options? [NO] **yes**

DEC AXPVMS JDECW V1.3-1: DECwindows Motif/Japanese

Do you need to install Japanese keymaps?: **YES**

Do you need to install 100dpi Japanese font?: **YES**

Do you need to install 75dpi Japanese font?: **YES**

Are you satisfied with these options? [YES]

Execution phase starting ...

The following product will be installed to destination:

DEC AXPVMS JDECW V1.3-1 DISK\$1:[VMS\$COMMON.]

Portion done: 0%...10%...20%...30%...40%...50%...60%...70%...80%...90%...100

The following product has been installed:

DEC AXPVMS JDECW V1.3-1 Layered Product

DEC AXPVMS JDECW V1.3-1: DECwindows Motif/Japanese

This product requires the following SYSGEN parameters:

GBLPAGES add 13300

This product requires the following SYSGEN parameters:

GBLSECTIONS add 40

Installation Verification Procedure (IVP) can be run after reboot.

The IVP is SYS\$TEST:DECW\$IVP_JA_JP.COM.

Installation of DECwindows Motif/Japanese for OpenVMS Alpha completed.

Check whether this product have the following PAKs registerd and loaded.

PAK Name

DW-MOTIF

DW-MOTIF-UI-JAPANESE

These are required to run any DECwindows Motif/Japanese for OpenVMS application.

If your system is already running DECwindows Motif, restart DECwindows Motif with the following DCL command:

```
$ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP RESTART
```

If your system has not run DECwindows Motif yet, start DECwindows Motif with the following DCL command:

```
$ @SYS$MANAGER:DECW$STARTUP
```

\$

B.2 アンインストールの実行例

以下に、国際化 DECwindows Motif V1.3-1 および日本語 DECwindows Motif V1.3-1 をアンインストールする実行例を紹介します。

アンインストールは、日本語 DECwindows Motif V1.3-1、国際化 DECwindows Motif V1.3-1 の順に行います。

この例では、DECnet がシャットダウンしていて、ユーザがログインしていないことを前提としています。

B.2.1 日本語 DECwindows Motif V1.3-1 のアンインストール

```
$ PRODUCT REMOVE JDECW
```

The following product has been selected:

```
DEC AXPVMS JDECW V1.3-1          Layered Product
```

Do you want to continue? [YES]

The following product will be removed from destination:

```
DEC AXPVMS JDECW V1.3-1          DISK$1:[VMS$COMMON.]
```

Portion done: 0%...10%...20%...30%...40%...50%...60%...70%...80%...90%...100%

The following product has been removed:

```
DEC AXPVMS JDECW V1.3-1          Layered Product
```

\$

B.2.2 国際化 DECwindows Motif V1.3-1 のアンインストール

```
$ PRODUCT REMOVE DWMOTIF_I18N
```

```
The following product has been selected:
```

```
DEC AXPVMS DWMOTIF_I18N V1.3-1      Layered Product
```

```
Do you want to continue? [YES]
```

```
The following product will be removed from destination:
```

```
DEC AXPVMS DWMOTIF_I18N V1.3-1      DISK$1:[VMS$COMMON.]
```

```
Portion done: 0%...10%...20%...30%...40%...50%...60%...70%...80%...90%...100
```

```
The following product has been removed:
```

```
DEC AXPVMS DWMOTIF_I18N V1.3-1      Layered Product
```

```
$
```


C

エラーからの回復

この付録では、製品のインストール時あるいは製品の使用時に発生する可能性のある障害あるいはエラーに対処するための情報を提供します。

C.1 日本語 DECwindows Motif のインストール時のエラー

インストール時に問題を検出した場合は、ユーザにそれを通知し、インストールを継続するかどうか問い合わせます。ある状況の場合は、YES と応答して処理を継続することができます。インストール処理を中止し、問題を修正する場合は NO と応答するか Return キーを押します。続いて、問題を修正して、インストールを再度実行します。

インストールに失敗した場合は、次のメッセージが表示されます。

```
%PCSI-E-S_OPFAIL, operation failed  
%PCSIUI-E-ABORT, operation terminated due to an unrecoverable error condition
```

インストール中に、以下のいずれかの状況が存在する場合はエラーが発生する可能性があります。

- オペレーティング・システムのバージョンが正しくない場合。
- 必要とするソフトウェア・バージョンが正しくない場合。
- インストールに必要なクォータが不足している場合。
- インストールに必要なシステム・パラメータ値が不足している場合。
- 製品ライセンスが登録されていない場合。

これらの条件により発生したエラー・メッセージについての説明は、システム・メッセージ、回復手順、OpenVMS ソフトウェア・インストールに関する OpenVMS ドキュメントを参照してください。上記の状態が通知された場合は、メッセージに記述されている適切な処置を行う必要があります。

インストールに必要な条件については、第 1 章を参照してください。

日本語 HP DECwindows Motif for OpenVMS
インストール・ガイド

2004年2月 発行

日本ヒューレット・パッカート株式会社

〒140-8641 東京都品川区東品川 2-2-24 天王洲セントラルタワー

電話 (03)5463-6600 (大代表)
